

第一次山陽小野田市総合計画
基本計画の見直しに関する
アンケート調査 集計結果

《概要版》

平成 24 年 8 月

山陽小野田市 総合政策部 企画課

1.市民アンケート編

◇アンケート概要及び回答者属性

(1) 調査の方法

①対象者

市内在住の18歳以上の3,500人を対象にしました。

②調査の方法

郵送による配布・回収を行い、無記名回答方式としました。

③調査期間

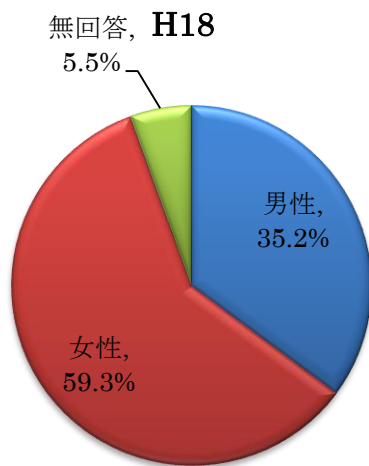
平成24年7月6日～7月31日

④回答状況

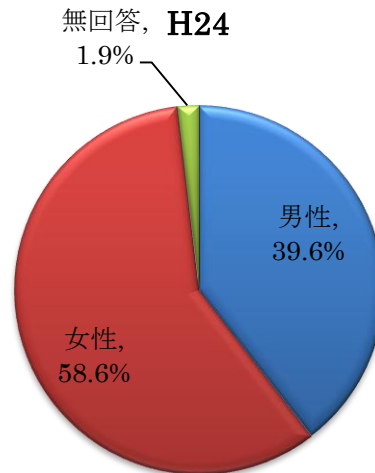
	H18	H24
配布数	3,500	3,500
回収数	1,407	1,183
回答率	40.20%	33.80%

(2) 回答者の属性

①性別

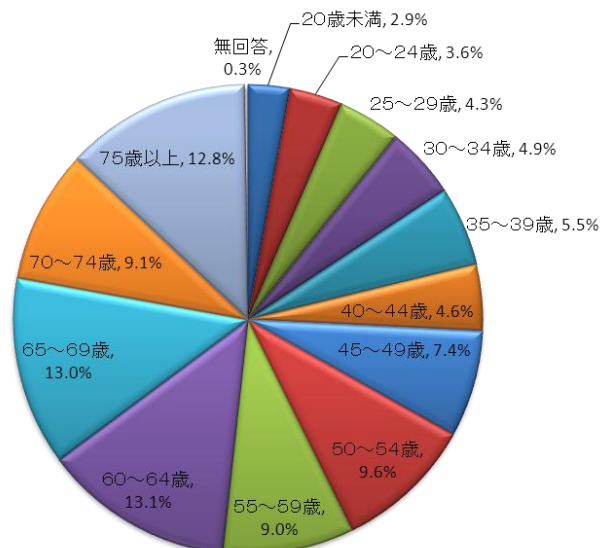
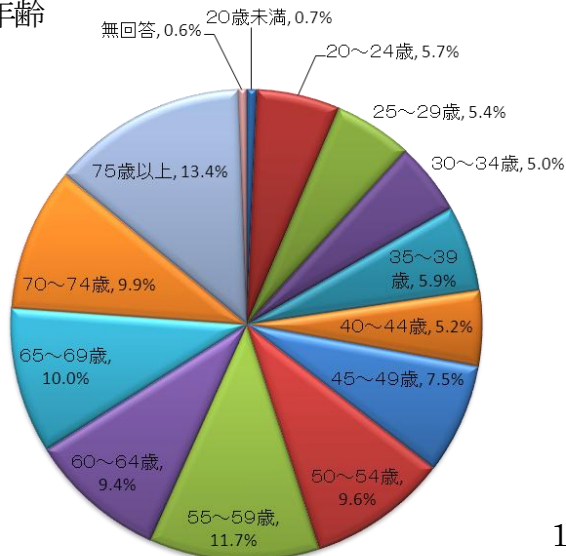


H18

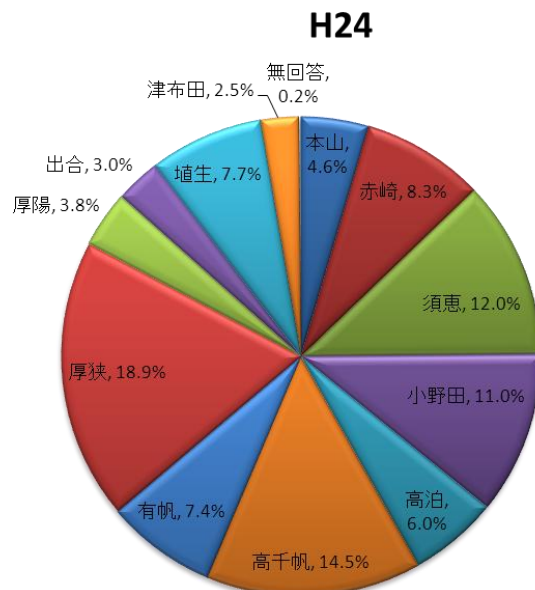


H24

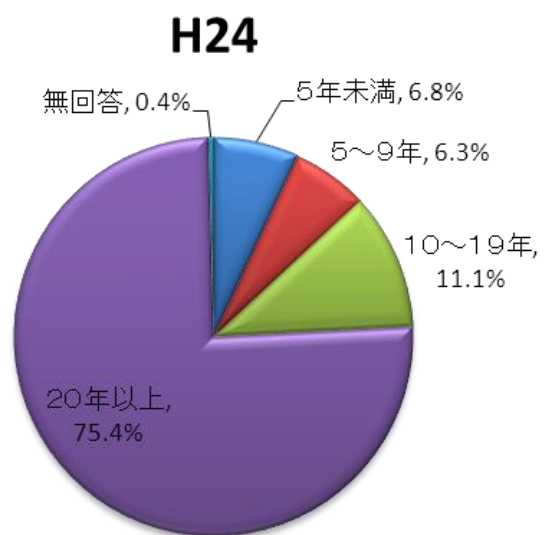
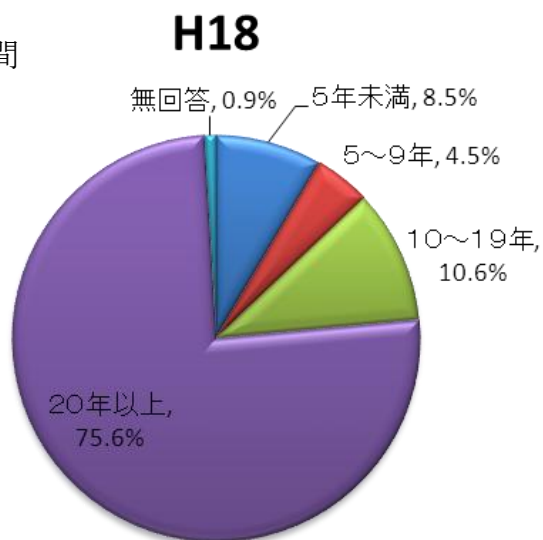
②年齢



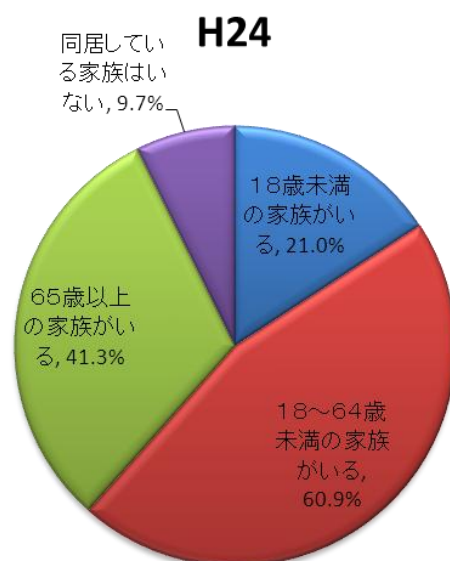
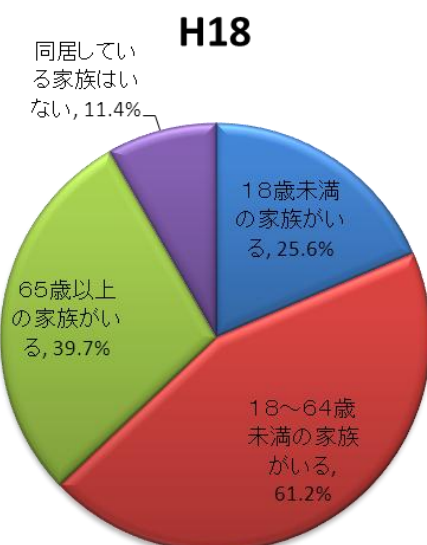
③校区



④居住期間



⑤同居家族

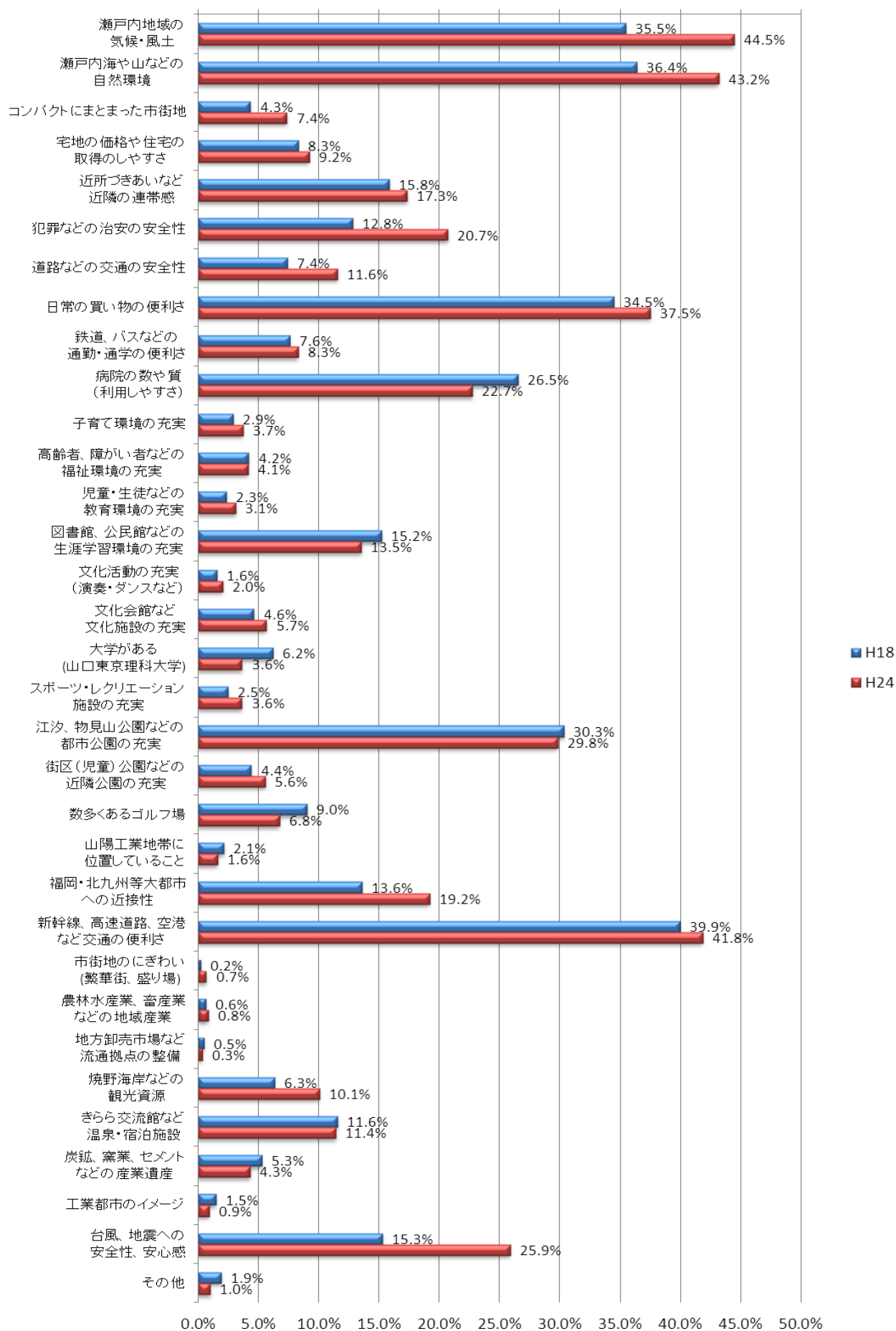


◇山陽小野田市について

①山陽小野田市の好きなところ

山陽小野田市の好きなところとして、「瀬戸内地域の気候・風土」(44.5%)、「瀬戸内海や山などの自然環境」(43.2%)などの自然とともに、「日常の買い物の便利さ」(37.5%)、「江汐、物見山公園などの都市公園の充実」(29.8%)、「新幹線、高速道路、空港などの交通の便利さ」(41.8%)が多く選ばれています。

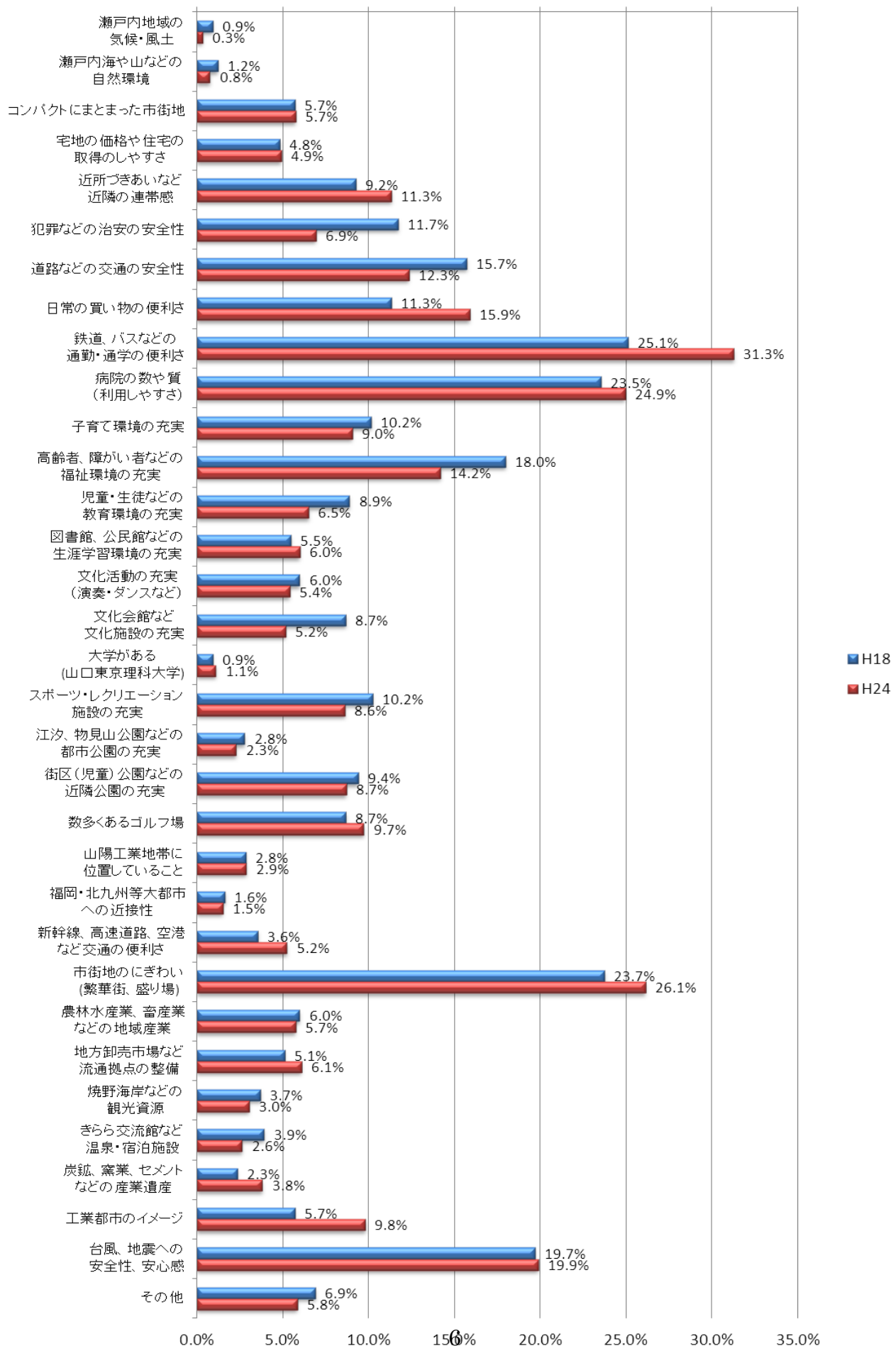
前回調査時より割合が増加した項目として、「瀬戸内地域の気候・風土」(35.5%→44.5%)、「瀬戸内海や山などの自然環境」(36.4%→43.2%)、「コンパクトにまとまった市街地」(4.3%→7.4%)、「犯罪などの治安の安全性」(12.8%→20.7%)、「道路などの交通の安全性」(7.4%→11.6%)、「福岡・北九州等大都市への近接性」(13.6%→19.2%)、「焼野海岸などの観光資源」(6.3%→10.1%)、「台風、地震への安全性、安心感」(15.3%→25.9%)等がありました。前回調査時より割合が減少した項目として、「病院の数や質(利用しやすさ)」(26.5%→22.7%)、「大学がある(山口東京理科大学)」(6.2%→3.6%)等がありました。



②山陽小野田市の嫌いなところ

山陽小野田市の嫌いなところとして、「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」(31.3%)、「病院の数や質(利用しやすさ)」(24.9%)、「市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)」(26.1%)、「台風、地震への安全性、安心感」(19.9%)が多く選ばれています。前回調査時より割合が減少した項目として、「犯罪などの治安の安全性」(11.7%→6.9%)、「文化会館など文化施設の充実」(8.7%→5.2%)等がありました。

前回調査時より割合が増加した項目として、「日常の買い物の便利さ」(11.3%→15.9%)、「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」(25.1%→31.3%)、「新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ」(3.6%→5.2%)、「炭鉱、窯業、セメントなどの産業遺産」(2.3%→3.8%)、「工業都市のイメージ」(5.7%→9.8%)等がありました。



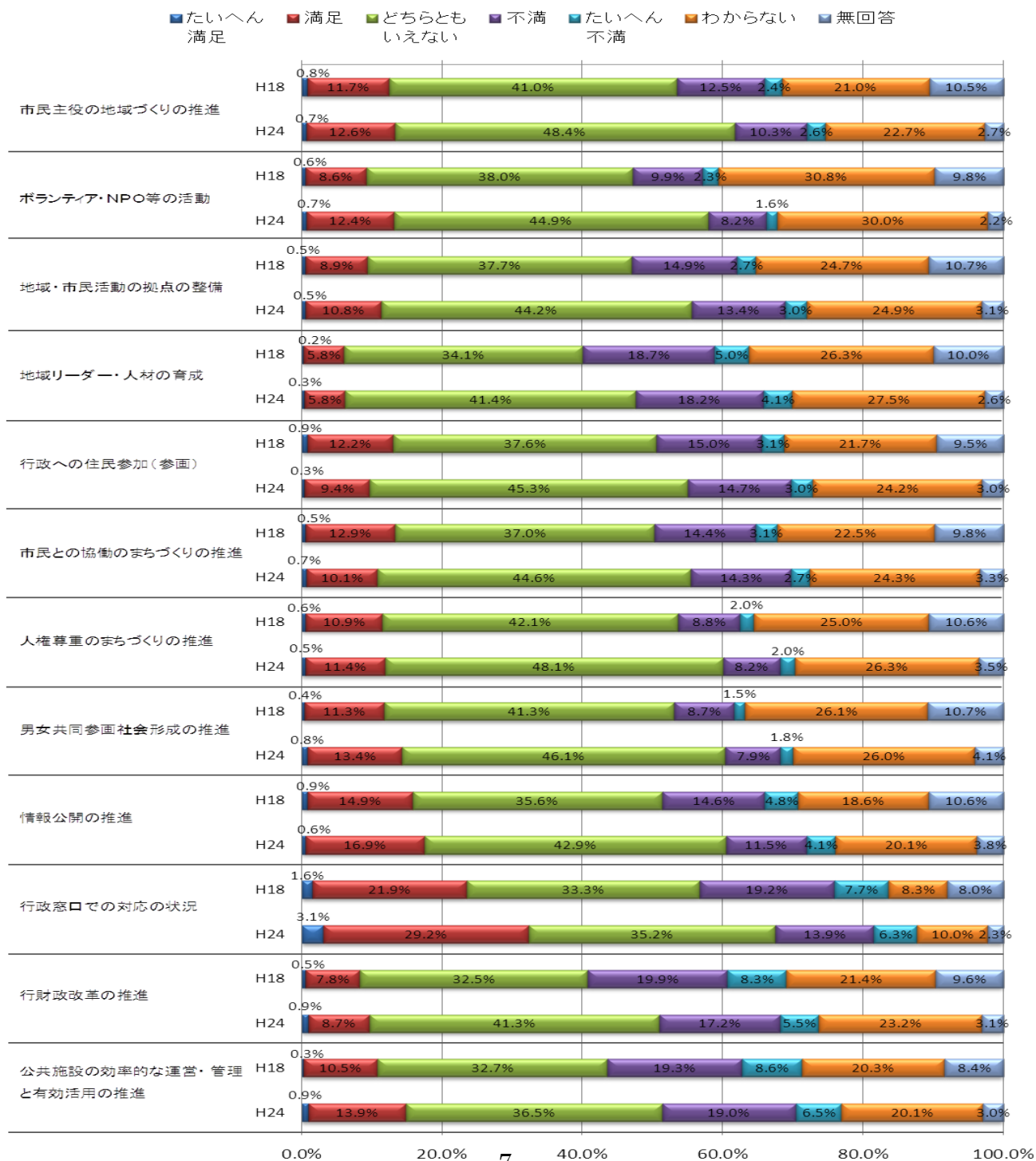
◇市政に対する評価と課題

①市民主役の行政運営の確立

<評価>

「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合は、「ボランティア・NPO等の活動」が9.2%から13.1%へ、「行政窓口での対応の状況」が23.5%から32.3%へ、「公共施設の効率的な運営・管理と有効活用の推進」が10.8%から14.8%へ上がりました。

「行政への住民参加（参画）」は13.1%から9.7%へ、「市民との協働のまちづくりの推進」は13.4%から10.8%へ下がりました。

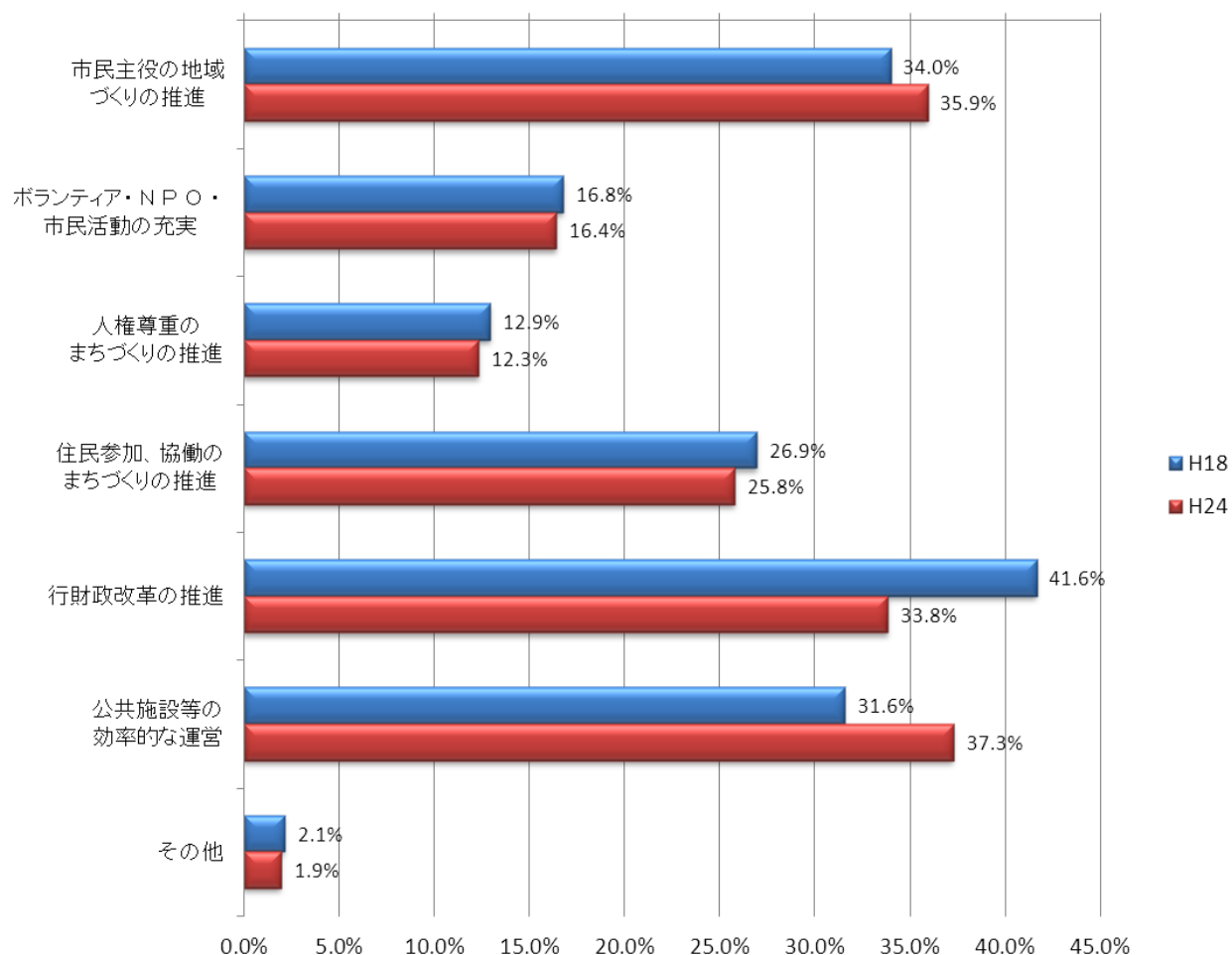


<重要度>

「公共施設等の効率的な運営」(37.3%)、「市民主役の地域づくりの推進」(35.9%)、「行財政改革の推進」(33.8%)が多く選ばれています。

「公共施設等の効率的な運営」が3位から1位になり、割合は31.6%から37.3%に増加しました。

「行財政改革の推進」が1位から3位になり、割合は41.6%から33.8%に減少しました。

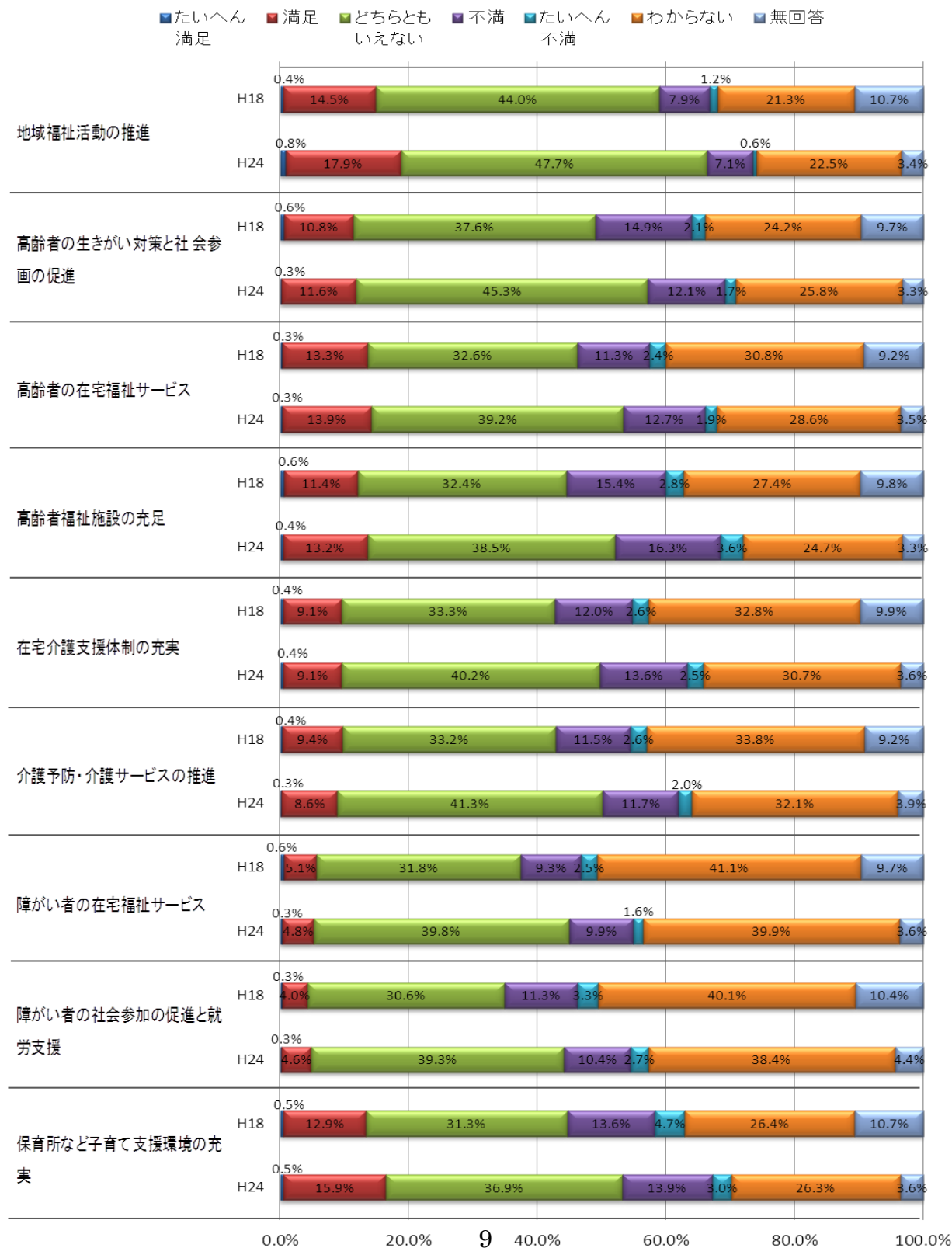


②安全・安心環境の充実

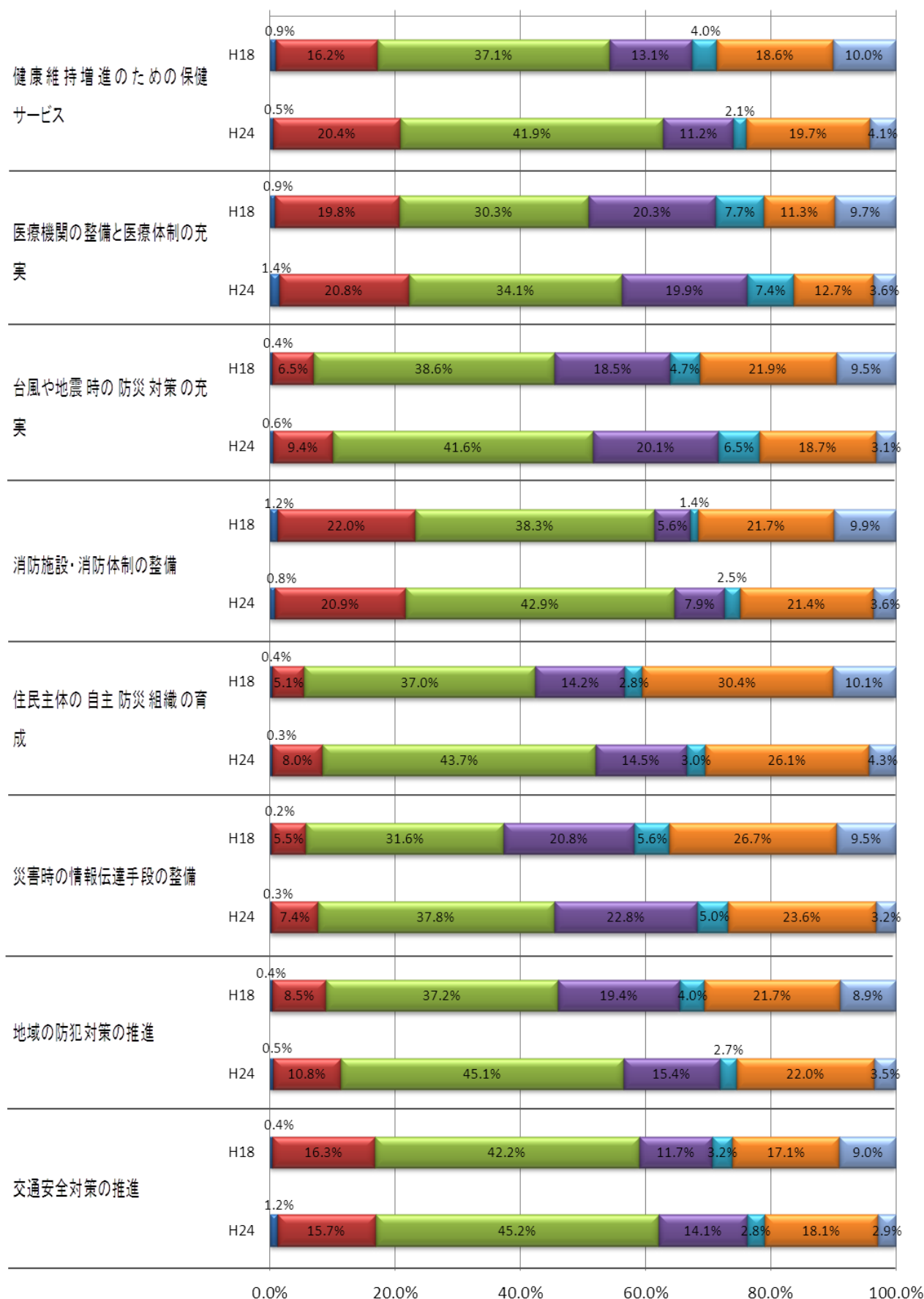
<評価>

「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合は、「住民主体の自主防災組織の育成」が 5.5%から 8.3%へ上がりました。

「不満」と「たいへん不満」を合わせた割合は、「消防施設・消防体制の整備」が 7.0%→10.4%へ上がりました。



■ たいへん 満足 ■ 満足 ■ どちらとも いえない ■ 不満 ■ たいへん 不満 ■ わからない ■ 無回答



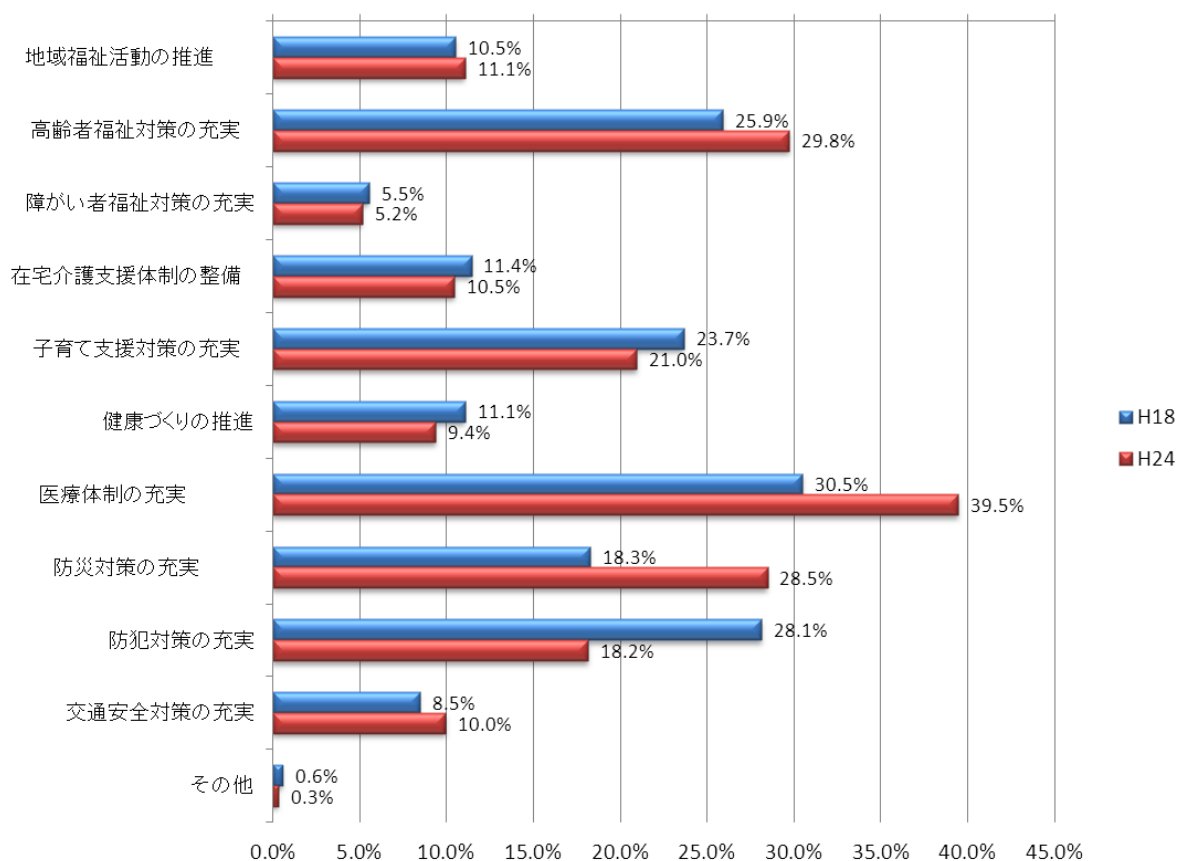
<重要度>

「医療体制の充実」(39.5%)、「高齢者福祉対策の充実」(29.8%)、「防災対策の充実」(28.5%)が多く選ばれています。

「医療体制の充実」は前回調査時も今回も1位で、割合は30.5%から39.5%に増加しました。

「防災対策の充実」は5位から3位になり、割合は18.3%から28.5%に増加しました。

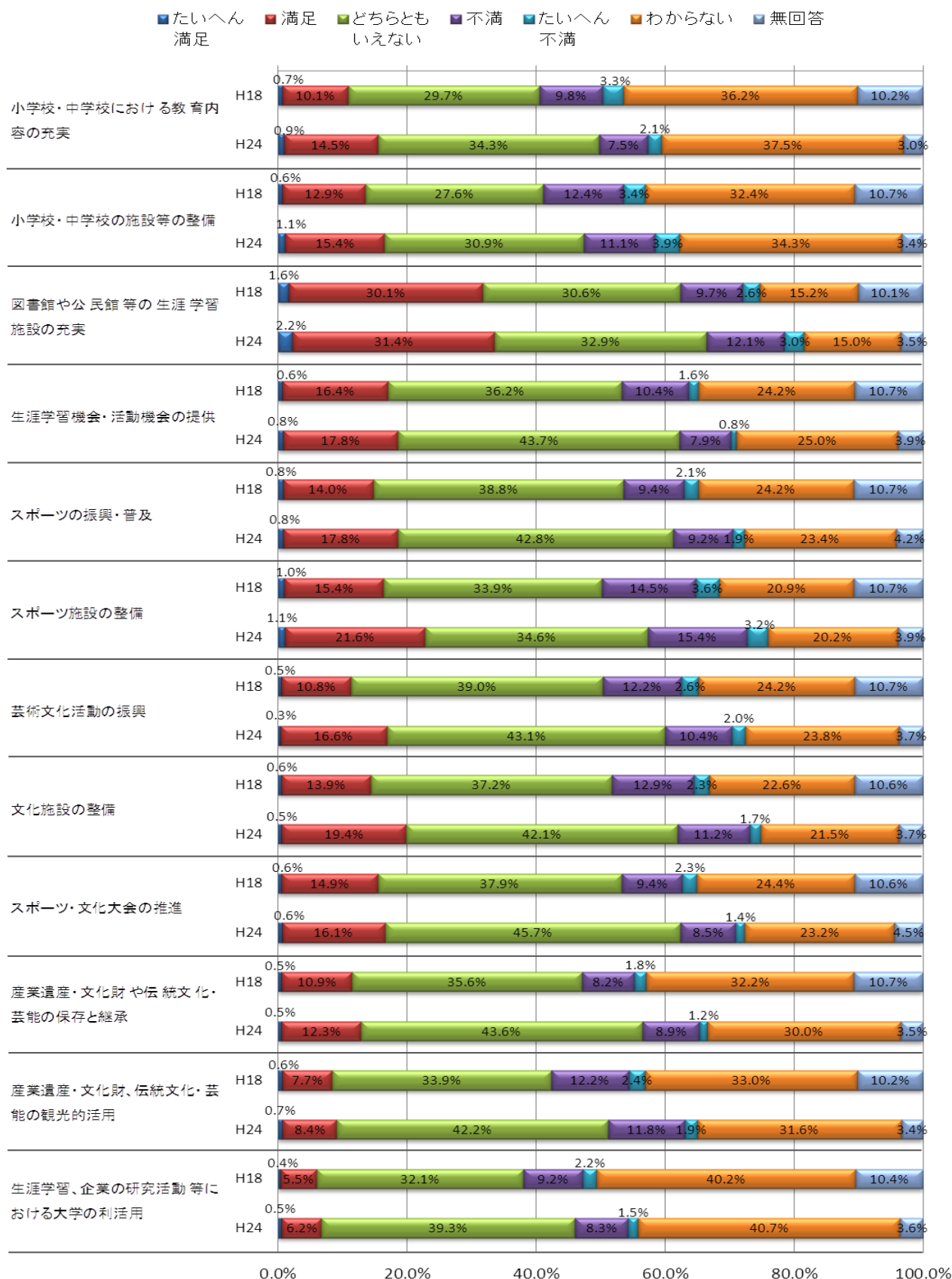
「防犯対策の充実」は2位から5位になり、割合は28.1%から18.2%に減少しました。



③教育・文化環境の充実

<評価>

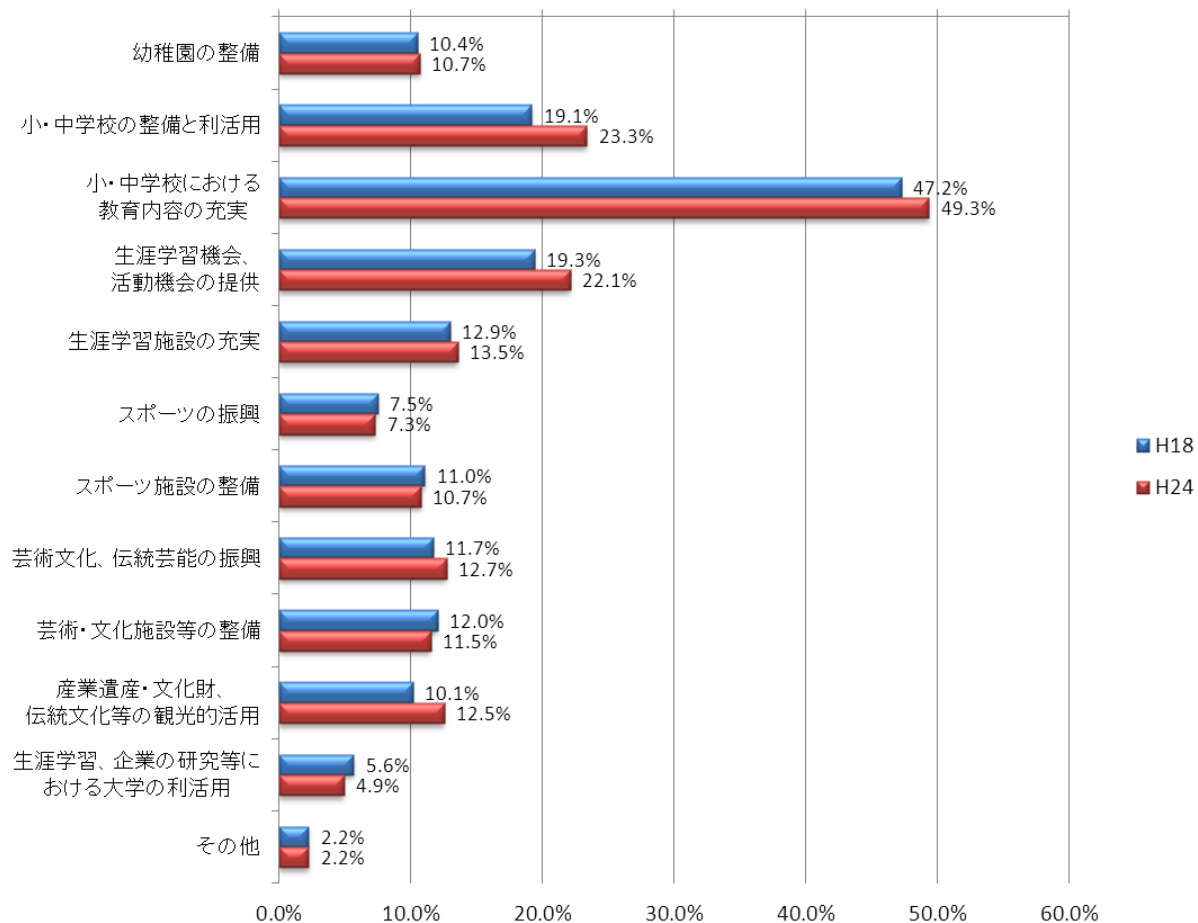
「大変満足」と「満足」を合わせた割合は、「スポーツ施設の整備」が16.4%から22.7%へ、「芸術文化活動の振興」が11.3%から16.9%へ、「文化施設の整備」が14.5%から19.9%へ増加しました。



<重要度>

「小・中学校における教育内容の充実」(49.3%)、「小・中学校の整備と利活用」(23.3%)、「生涯学習機会、活動機会の提供」(22.1%)が多く選ばれています。

「小・中学校における教育内容の充実」は、前回調査時も今回も1位でした。
 その他、前回調査時と今回で大きな変動はありませんでした。



④にぎわい・活力環境の創出

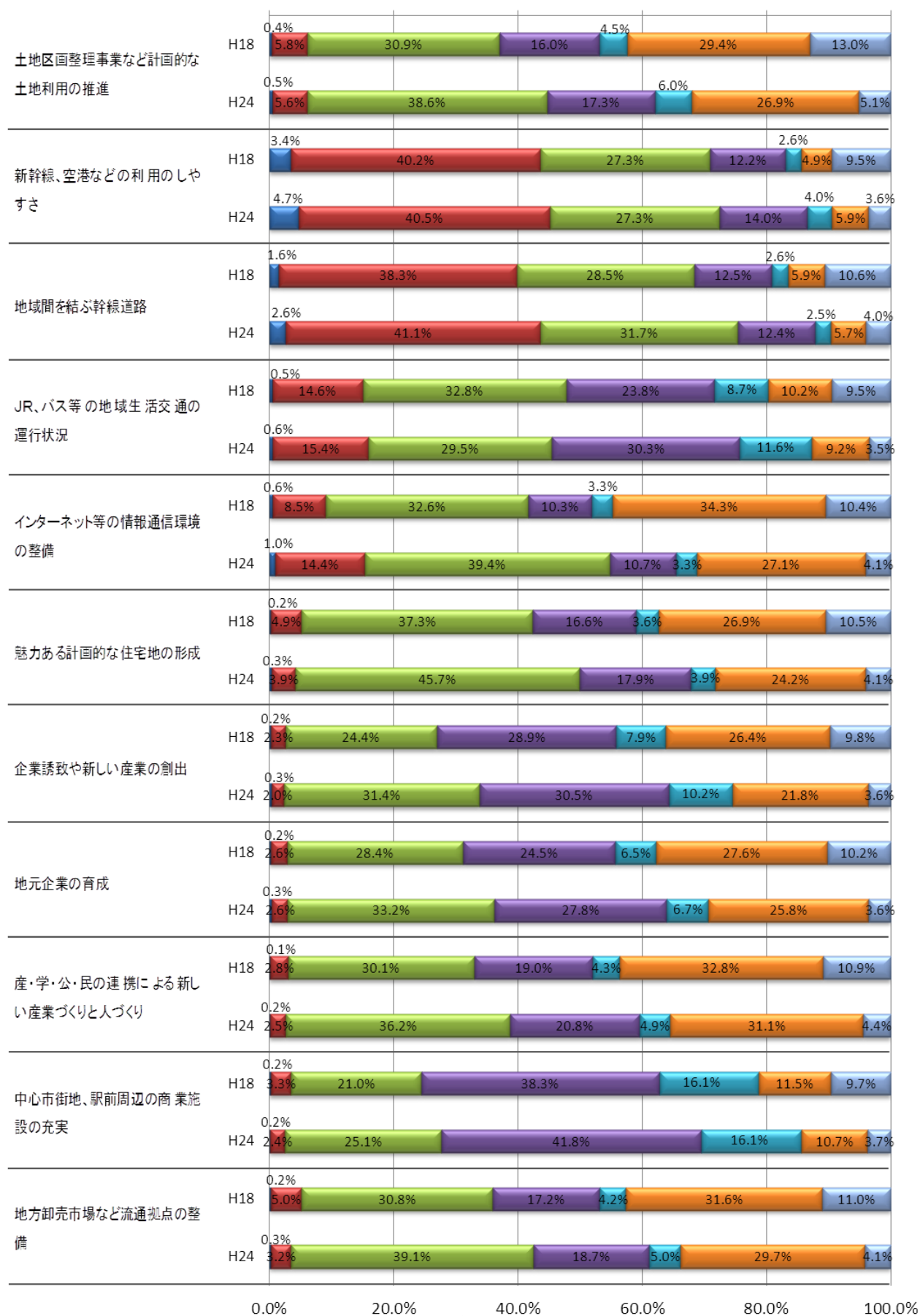
<評価>

「不満」と「たいへん不満」を合わせた割合が、「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合を上回っている項目として、「ＪＲ、バス等の地域生活交通の運行状況」（満足度 16.0%、不満度 41.9%）、「企業誘致や新しい産業の創出」（満足度 2.3%、不満度 40.7%）、「地元企業の育成」（満足度 2.9%、不満度 34.5%）、「中心市街地、駅前周辺の商業施設の充実」（満足度 2.6%、不満度 57.9%）、「雇用機会の確保」（満足度 2.2%、不満度 44.4%）、「職業能力の開発向上」（満足度 2.6%、不満度 32.0%）等があります。

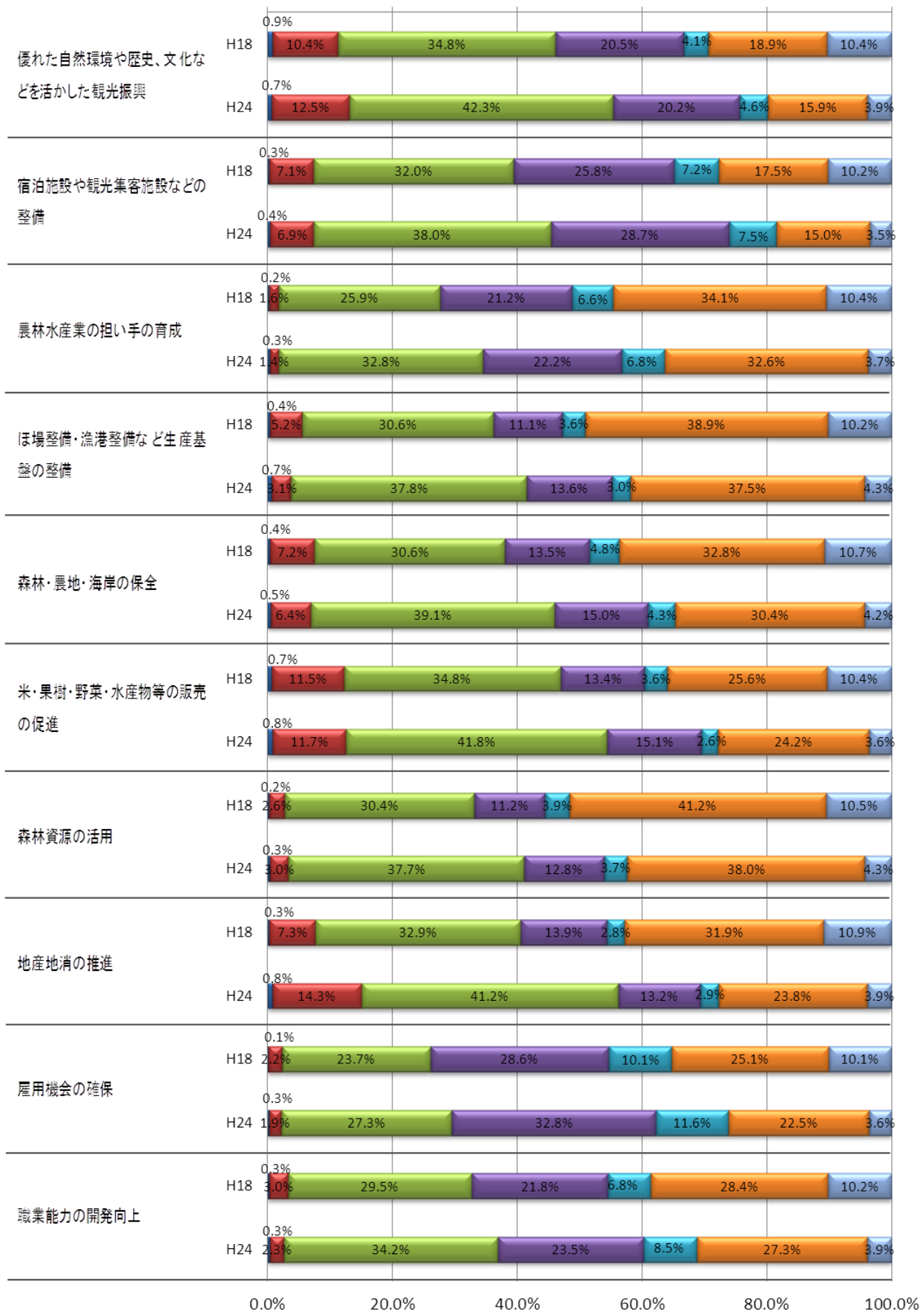
「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合は、「インターネット等の情報通信環境の整備」が 9.1%→15.4%へ、「地産地消の推進」が 7.6%→15.1%へ増加しました。

「不満」と「たいへん不満」を合わせた割合が増加した項目として、「ＪＲ、バス等の地域生活交通の運行状況」（32.5%→41.9%）、「雇用機会の確保」（38.7%→44.4%）等がありました。

■ たいへん満足 ■ 満足 ■ どちらともいえない ■ 不満 ■ たいへん不満 ■ わからない ■ 無回答



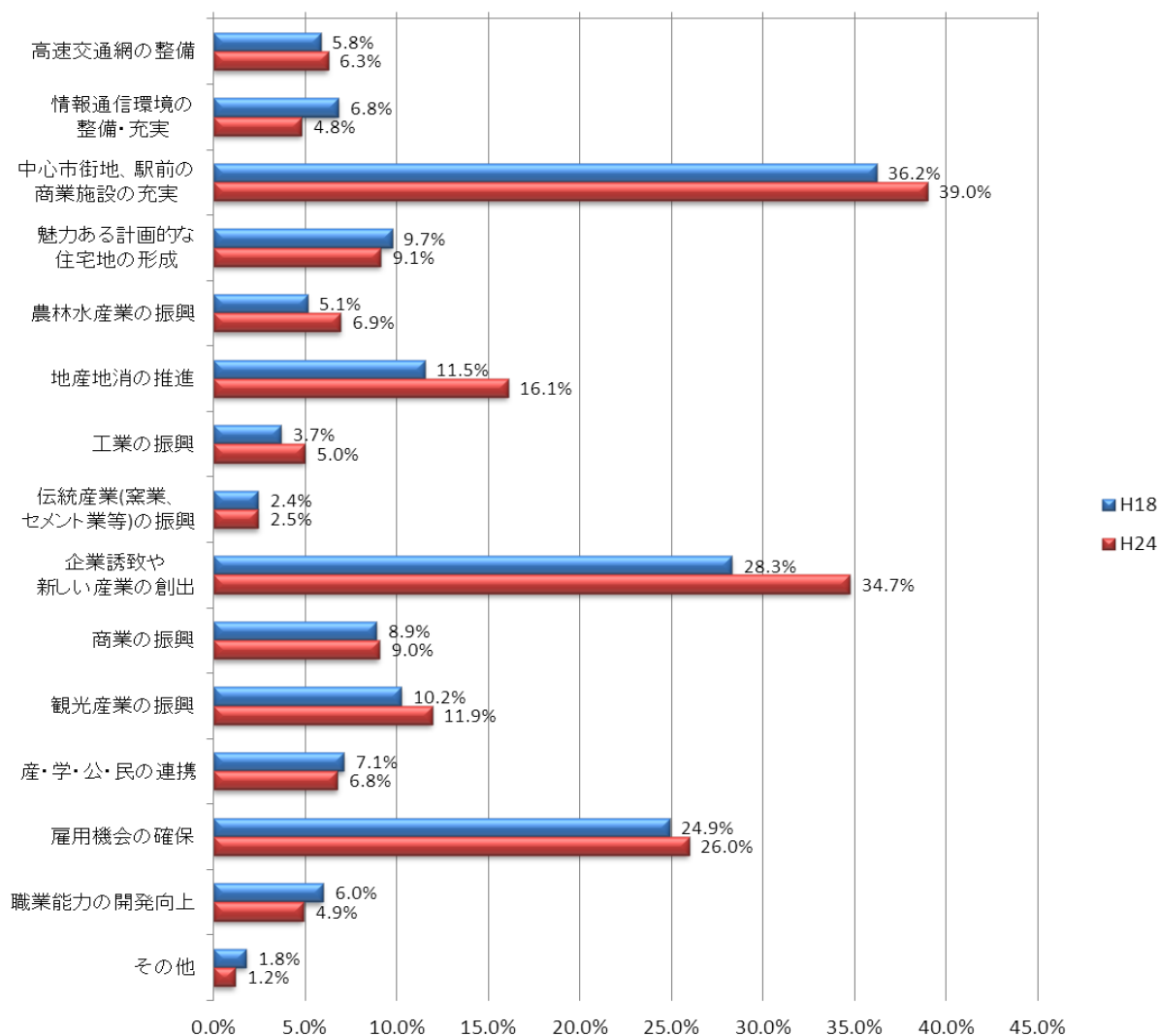
■ たいへん 満足 ■ 満足 ■ どちらとも いえない ■ 不満 ■ たいへん 不満 ■ わからない ■ 無回答



<重要度>

「中心市街地、駅前の商業施設の充実」(39.0%)、「企業誘致や新しい産業の創出」(34.7%)、「雇用機会の確保」(26.0%)が多く選ばれています。

「中心市街地、駅前の商業施設の充実」は前回調査時も今回も1位でした。「地産地消の推進」は11.5%から16.1%へ、「企業誘致や新しい産業の創出」は28.3%から34.7%へ増加しました。



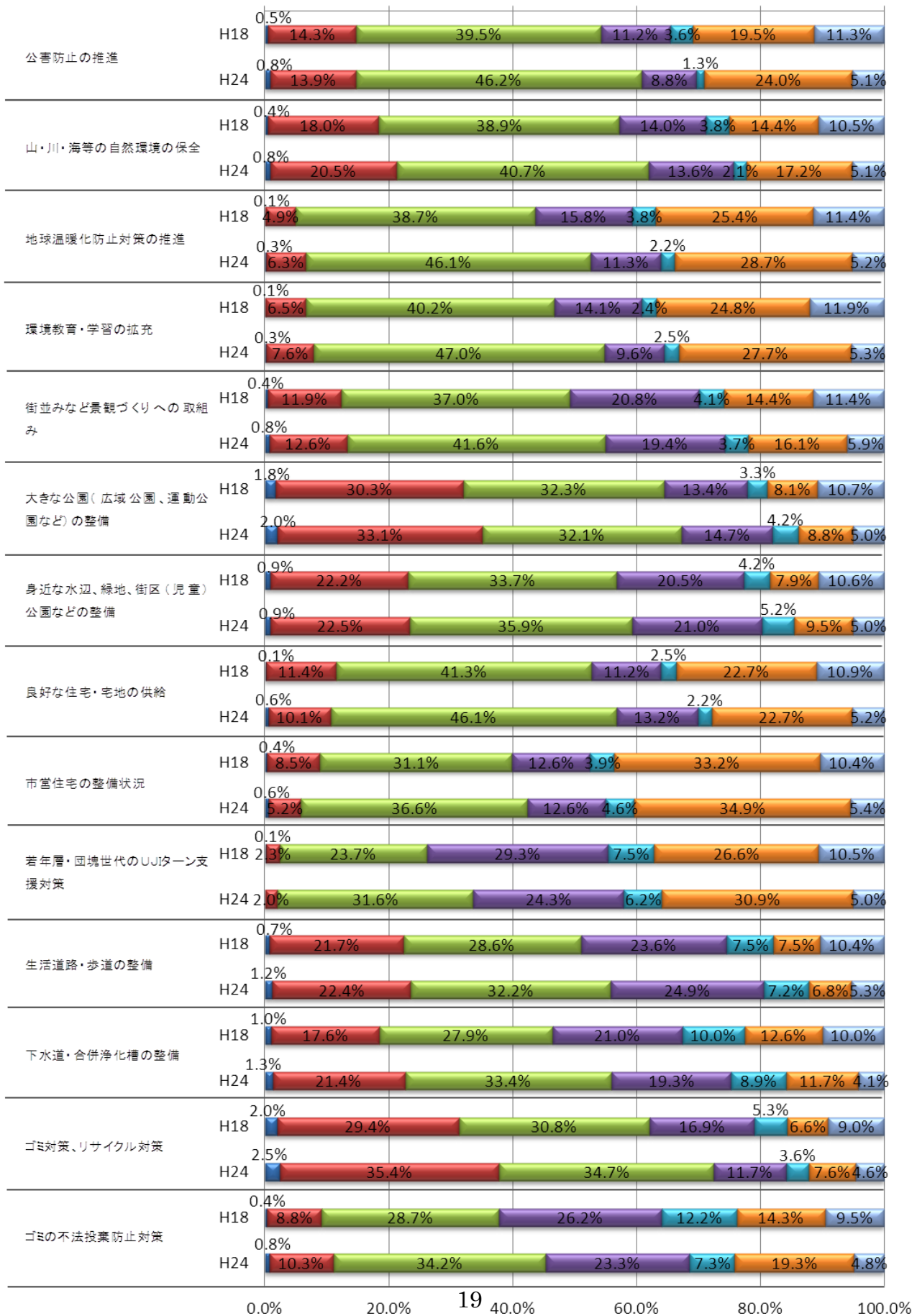
⑤定住環境の充実

<評価>

「不満」又は「たいへん不満」を合わせた不満度が、「たいへん満足」又は「満足」を合わせた満足度を上回っている項目として、「地球温暖化防止対策の推進」（満足度 6.6%、不満度 13.5%）、「環境教育・学習の拡充」（満足度 7.9%、不満度 12.1%）、「街並みなど景観づくりへの取組み」（満足度 13.4%、不満度 23.1%）、「市営住宅の整備状況」（満足度 5.8%、不満度 17.2%）、「若年層・団塊世代のU J I ターン支援対策」（満足度 2.0%、不満度 30.5%）、「ゴミの不法投棄防止対策」（満足度 11.1%、不満度 30.6%）等があります。

「たいへん満足」と「満足」を合わせた満足度が下がった項目として、「市営住宅の整備状況」（8.9%→5.8%）等がありました。

■ たいへん 満足 ■ 満足 ■ どちらとも いえない ■ 不満 ■ たいへん 不満 ■ わからない ■ 無回答



<重要度>

「若者・団塊世代のU J I ターン支援」(36.1%)、「自然環境の保全や環境教育の推進」(25.2%)、「生活道路・歩道の整備」(21.9%) が多く選ばれています。

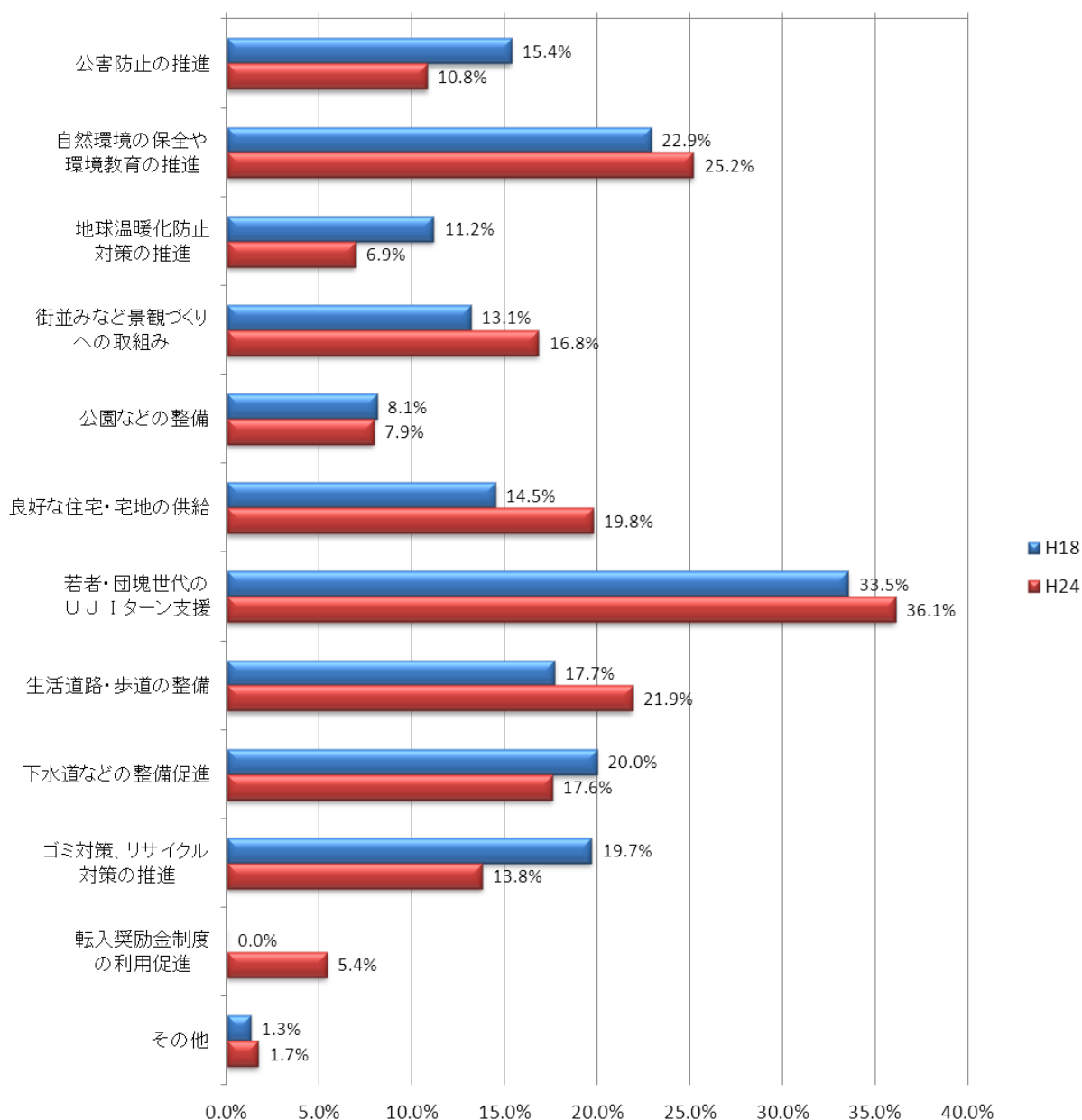
「若者・団塊世代のU J I ターン支援」は前回調査時も今回も1位でした。

「生活道路・歩道の整備」は5位から3位へ順位が上がり、割合も17.7%から21.9%に増加しました。

「下水道などの整備促進」は3位から5位へ順位が下がりました。

「良好な住宅・宅地の供給」の割合は14.5%から今回19.8%へ増加しました。

「地球温暖化防止対策の推進」の割合は11.2%から6.9%へ、「ゴミ対策、リサイクル対策の推進」の割合は19.7%から13.8%へ減少しました。



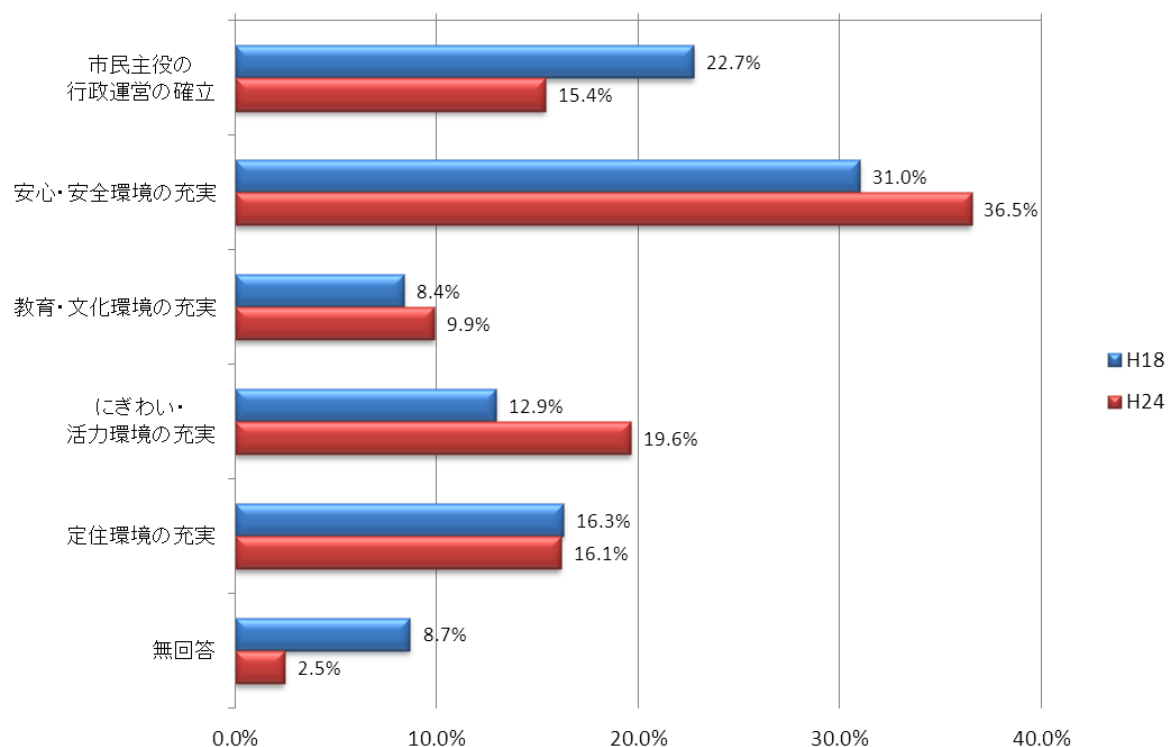
⑥まちづくりのテーマ

「安心・安全環境の充実」(36.5%)、「にぎわい・活力環境の充実」(19.6%)、「定住環境の充実」(16.1%)が多く選ばれています。

「安心・安全環境の充実」は前回調査時も今回も1位でした。

「にぎわい・活力環境の充実」は4位から2位へ順位が上がり、割合も12.9%から19.6%へ上がりました。

「市民主役の行政運営の確立」は2位から4位へ順位が下がり、割合も22.7%から15.4%へ下がりました。



◇行財政改革

①山陽小野田市の重点的に取り組むべき行財政改革

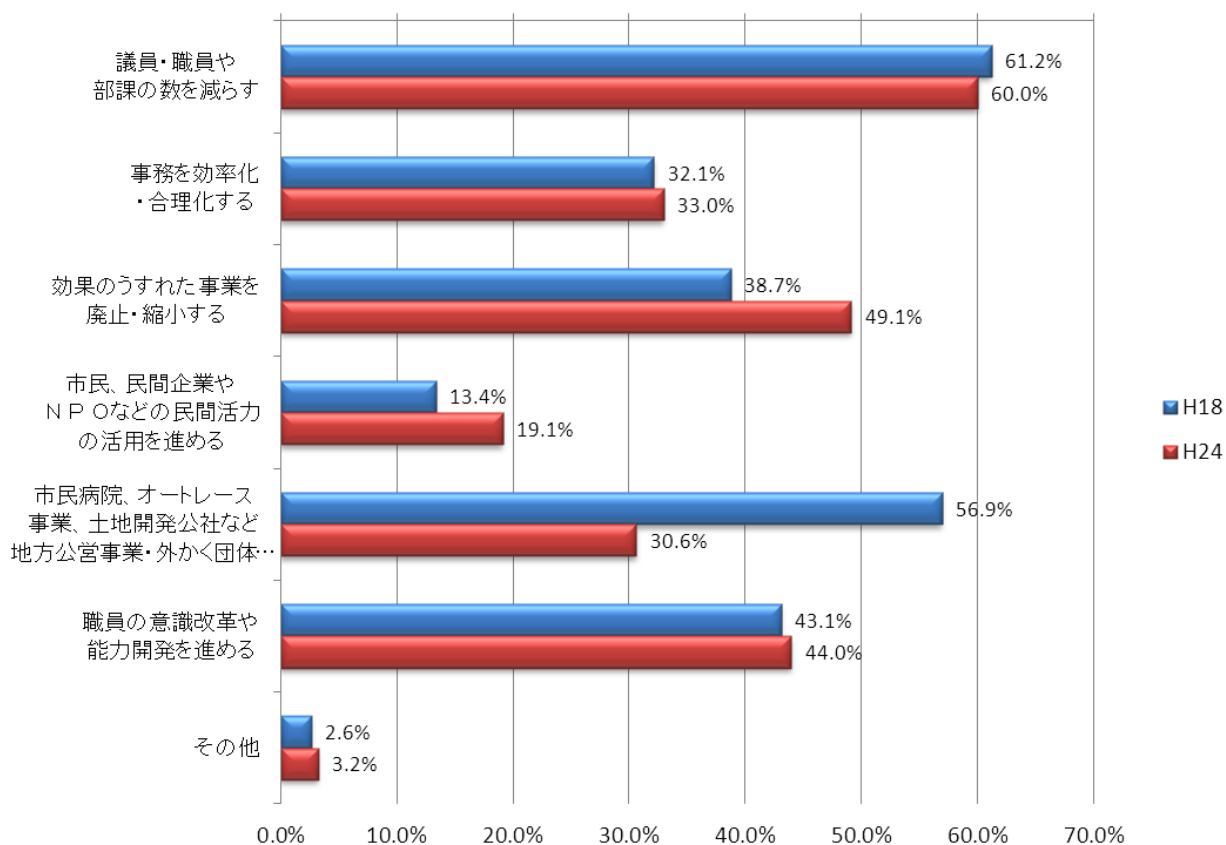
「議員・職員や部課の数を減らす」(60.0%)、「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」(49.1%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(44.0%)が多く選ばれています。

「議員・職員や部課の数を減らす」が前回調査時も今回も1位となっています。

「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」が4位から2位へと順位が上がり、割合は38.7%から49.1%へ増加しました。

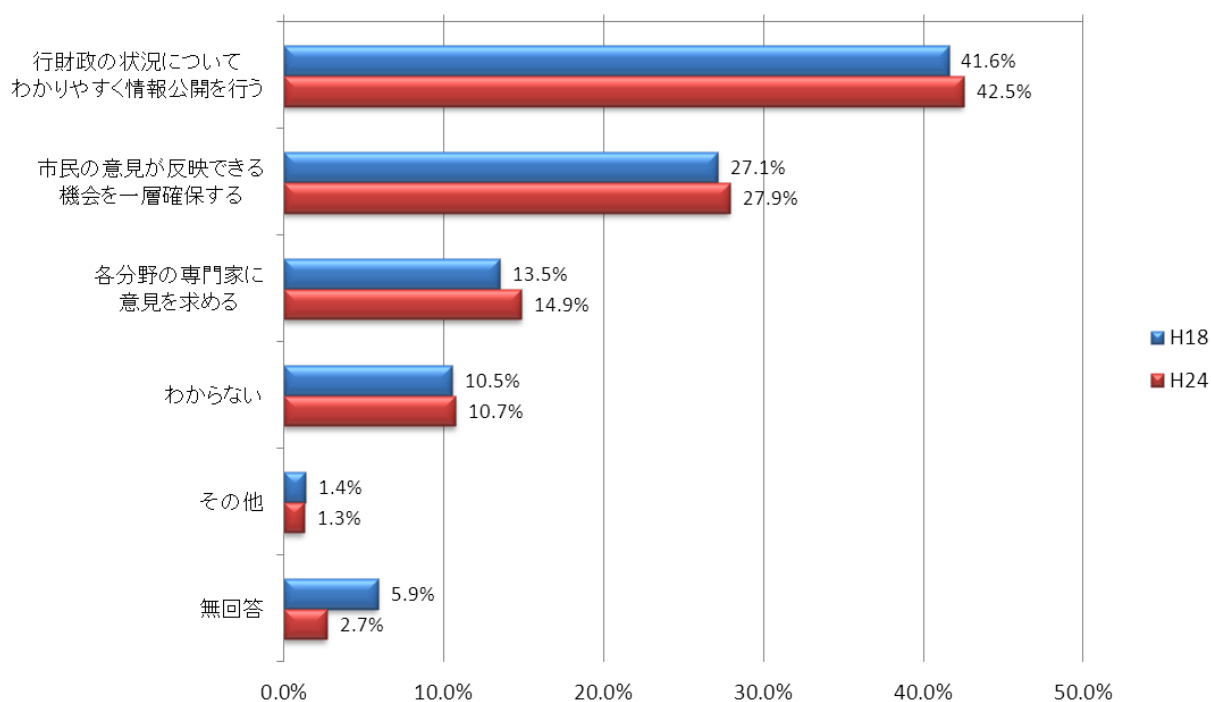
「市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める」は2位から5位へと順位が下がり、割合は56.9%から30.6%に減少しました。

「市民、民間企業やNPOなどの民間活力の活用を進める」を選んだ方の割合は、13.4%から19.1%に増加しました。



②最も重視すべき行財政改革の進め方

「行財政改革の状況についてわかりやすく情報公開を行う」(42.5%)、「市民の意見が反映できる機会を一層確保する」(27.9%)、「各分野の専門家に意見を求める」(14.9%)の順に選ばれています。



◇市政への市民参加について

①市政への関心度

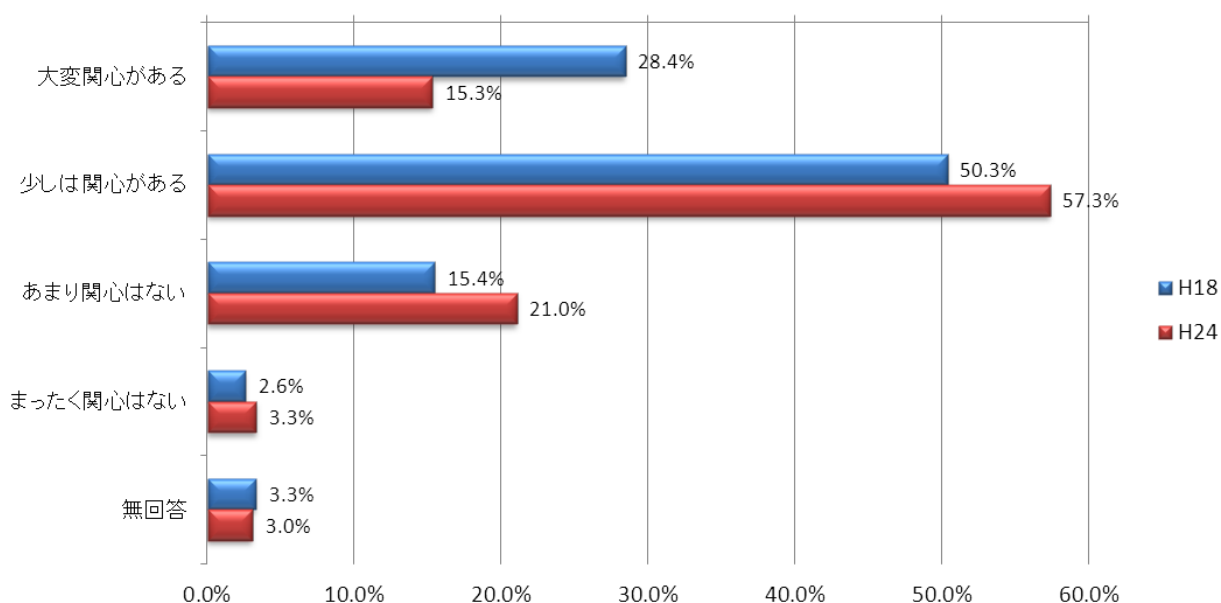
「大変関心がある」又は「少しは関心がある」と答えた方の割合（72.6%）が、「あまり関心はない」又は「まったく関心はない」と答えた方の割合（24.3%）を上回っています。

「大変関心がある」と答えた方の割合は、28.4%から 15.3%に減少しました。

「少しは関心がある」と答えた方の割合は、50.3%から 57.3%に増加しました。

「大変関心がある」又は「少しは関心がある」と答えた方の割合は、78.7%から 72.6%に減少しました。

「あまり関心はない」又は「まったく関心はない」と答えた方の割合は、18.0%から 24.3%に増加しました。

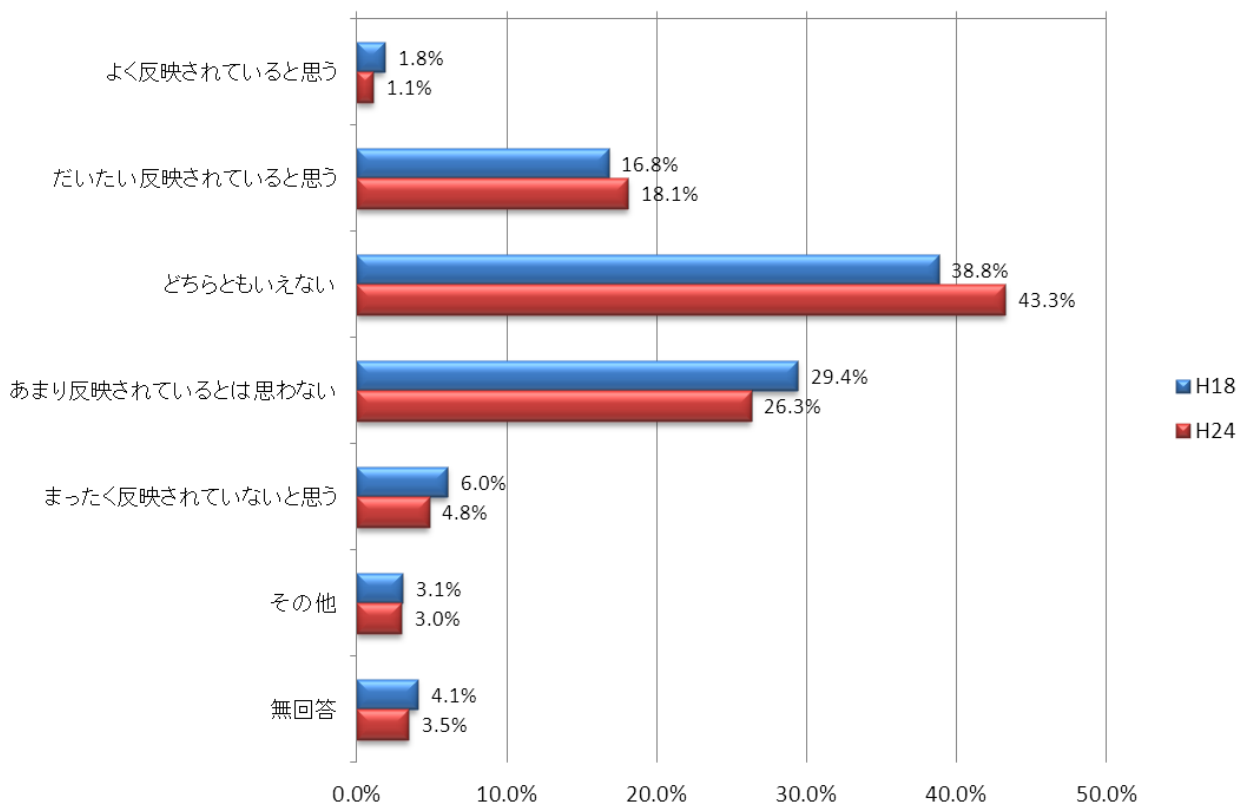


②市政への意見・提言の反映度

「よく反映されていると思う」又は「だいたい反映されていると思う」と答えた方の割合(19.2%)が、「あまり反映されているとは思わない」又は「まったく反映されていないと思う」と答えた方の割合(31.1%)を下回りました。

「あまり反映されているとは思わない」と答えた方の割合は、29.4%から26.3%へ減少しました。

「どちらともいえない」と答えた方の割合は、38.8%から43.3%に増加しました。



③市政への意見・提言の機会や手段、方法への満足度

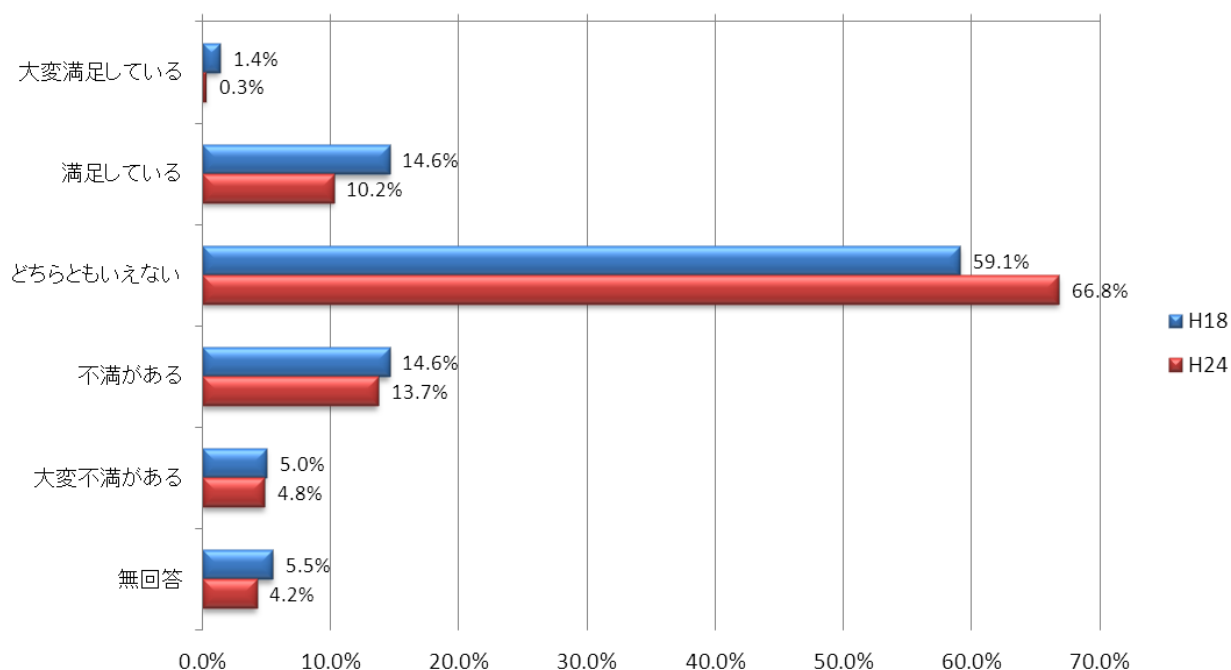
「大変満足している」又は「満足している」と答えた方の割合（10.5%）が、「不満がある」又は「大変不満がある」と答えた方の割合（18.5%）を下回っています。

「どちらともいえない」と答えた方の割合が66.8%と多数を占めています。

「大変満足している」と答えた方の割合は、1.4%から0.3%に減少しました。

「大変満足している」又は「満足している」と答えた方の割合は、16.0%から10.5%に減少しました。

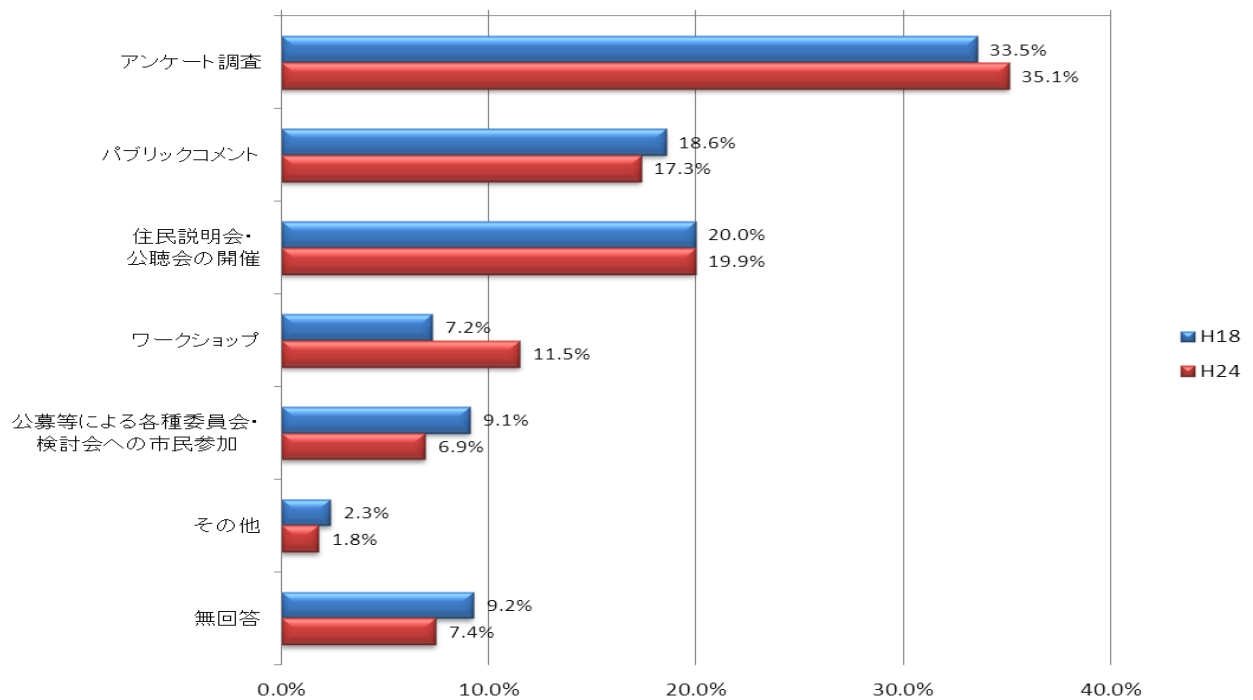
「どちらともいえない」と答えた方の割合は、59.1%から66.8%に増加しました。



④望ましい市政への市民参加、意見・提言の反映方法

「アンケート調査」(35.1%)、「住民説明会・公聴会の開催」(19.9%)、「パブリックコメント」(17.3%)が多く選ばれています。

「ワークショップ」と答えた方の割合が7.2%から11.5%に増加しました。



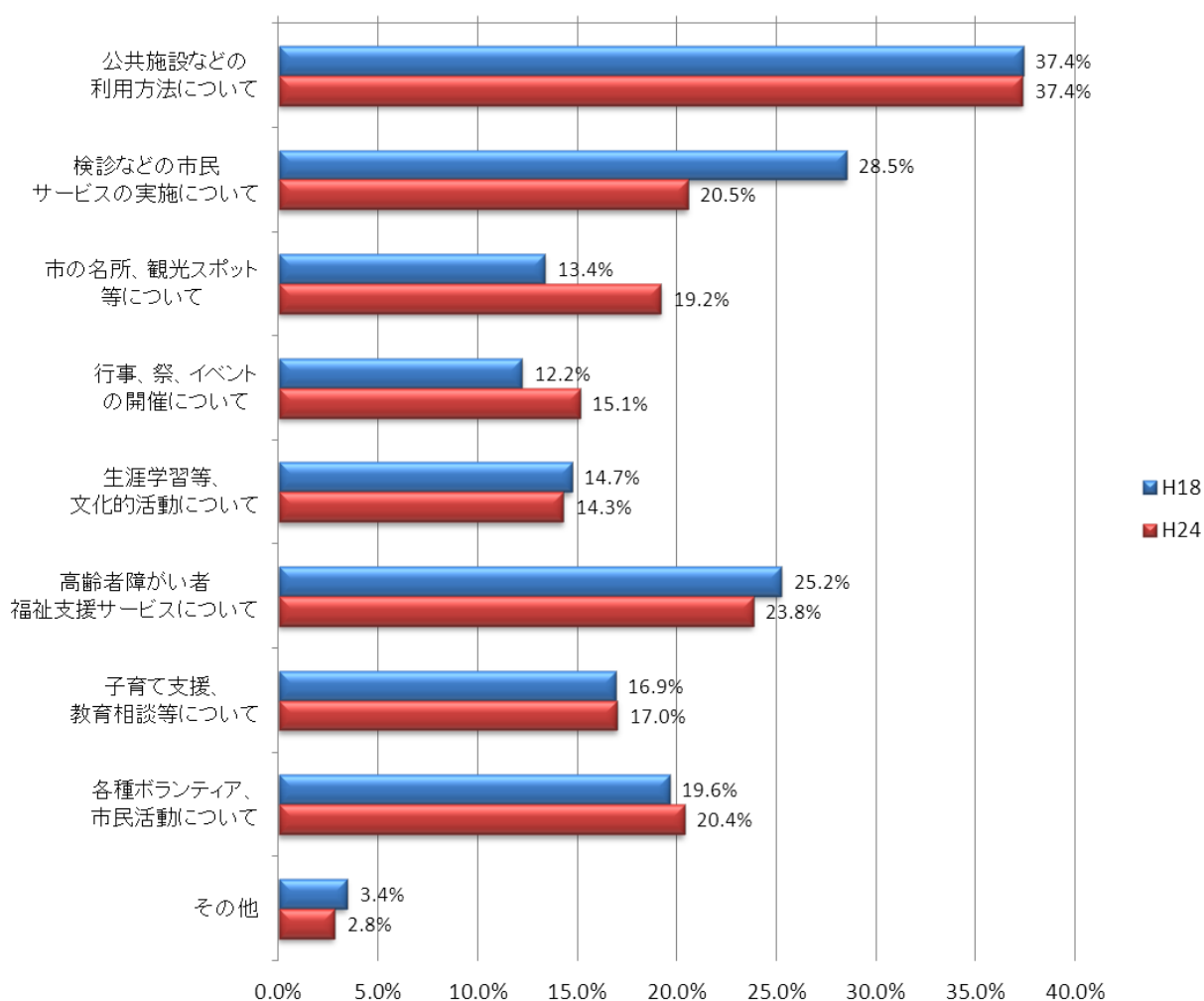
<広報のあり方>

①不足を感じる市からの情報

「公共施設などの利用方法について」(37.4%)、「高齢者障がい者福祉支援サービスについて」(23.8%)、「検診などの市民サービスの実施について」(20.5%)、「各種ボランティア、市民活動について」(20.4%)が多く選ばれています

「検診などの市民サービスの実施について」が28.5%から20.5%に減少しました。

「市の名所、観光スポット等について」が13.4%から19.2%に増加しました。

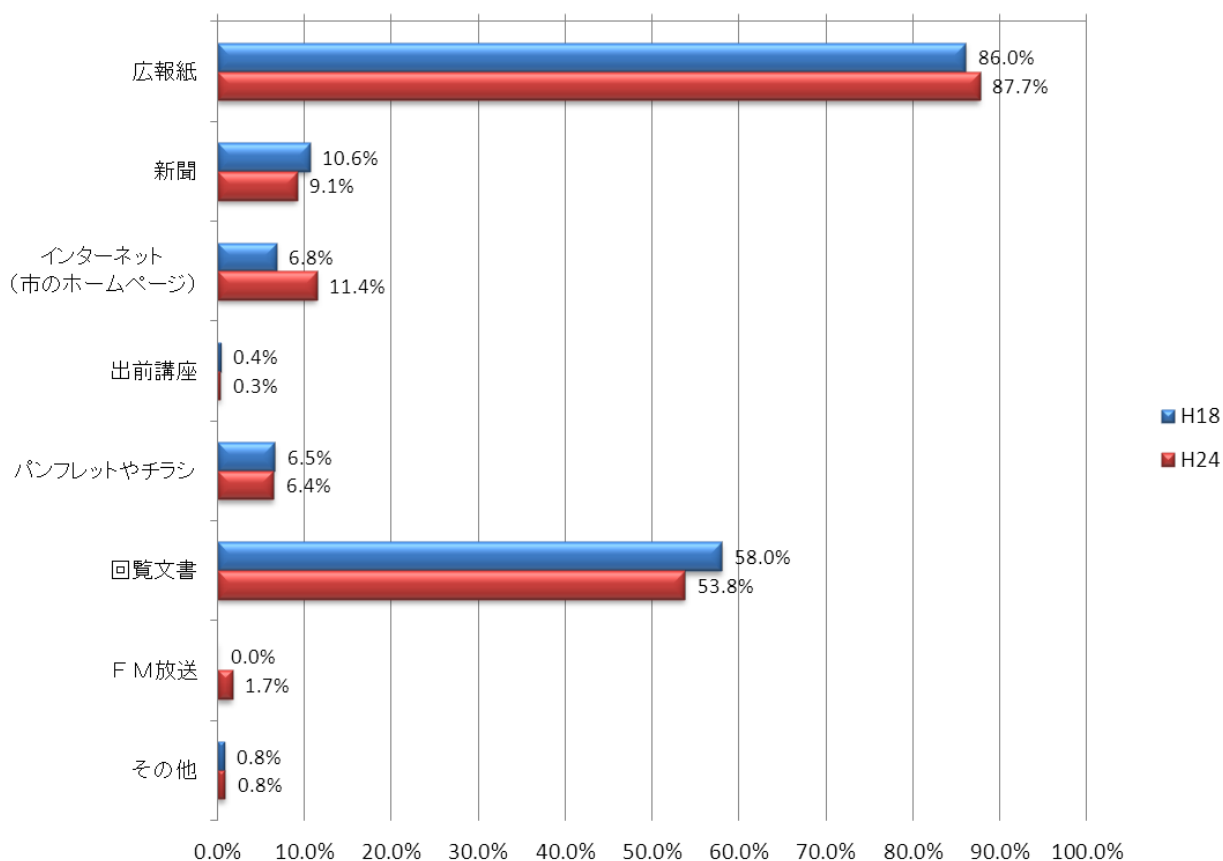


②市からの情報の取得方法

「広報紙」（87.7%）、「回覧文書」（53.8%）が多く選ばれています。

平成24年2月のFM放送局開局に伴い、今回の調査に「FM放送」を付け加えました。「FM放送」と答えた方は1.7%でした。

「インターネット（市のホームページ）」と答えた方の割合が、6.8%から11.4%に増加しました。



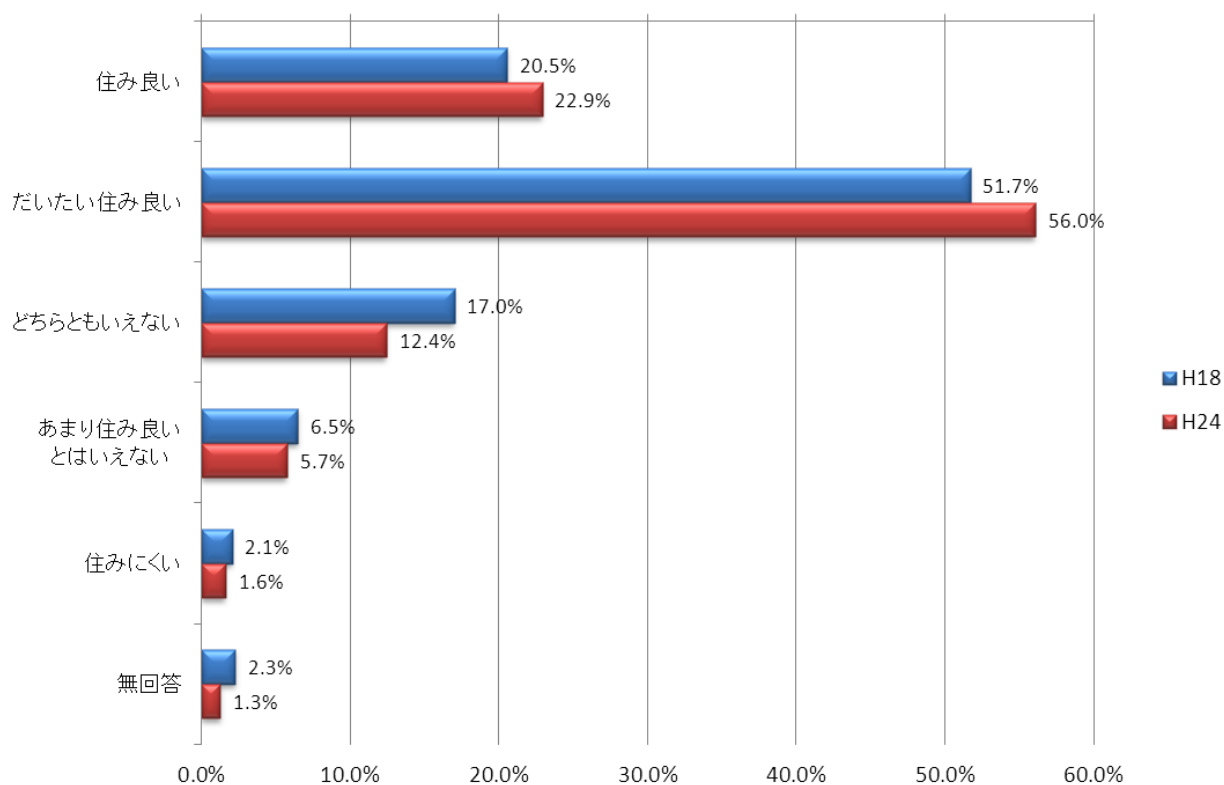
◇今後の居住意向について

①山陽小野田市の住み良さ

「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合（78.9%）が、「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合（7.3%）を上回りました。

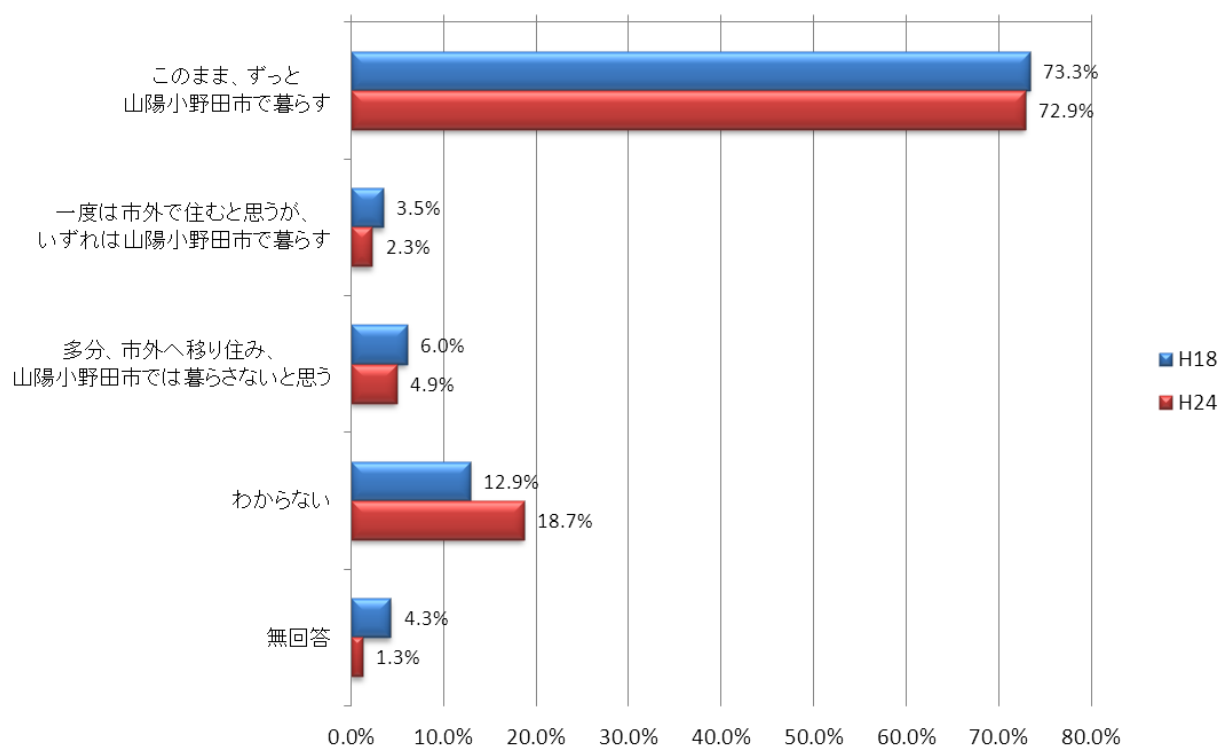
「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合は、72.2%から 78.9%に増加しました。

「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合は、8.6%から 7.3%に減少しました。



②山陽小野田市への今後の居住意向

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」又は「一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合（75.2%）が、「多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う」と答えた方の割合（4.9%）を上回っています。

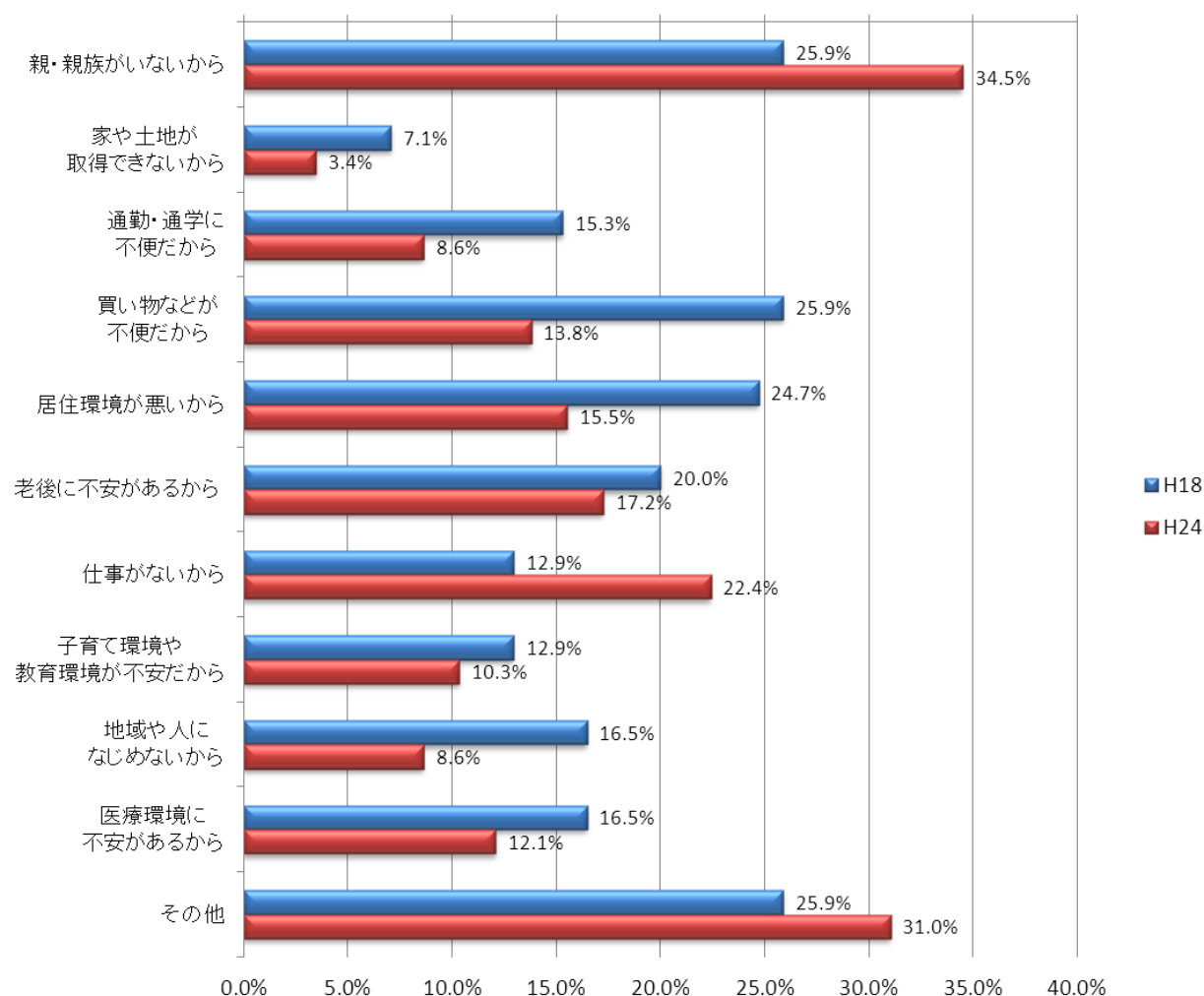


③今後、市外に住みたいと思う理由

「親・親族がいないから」(34.5%)、「仕事がないから」(22.4%)、「老後に不安があるから」(17.2%)が多く選ばれています。

「家や土地が取得できないから」は 7.1%から 3.4%へ、「通勤・通学に不便だから」は 15.3%から 8.6%へ、「買い物などが不便だから」は 25.9%から 13.8%へ、「居住環境が悪いから」は 24.7%から 15.5%へ、「地域や人になじめないから」は 16.5%から 8.6%へ減少しました。

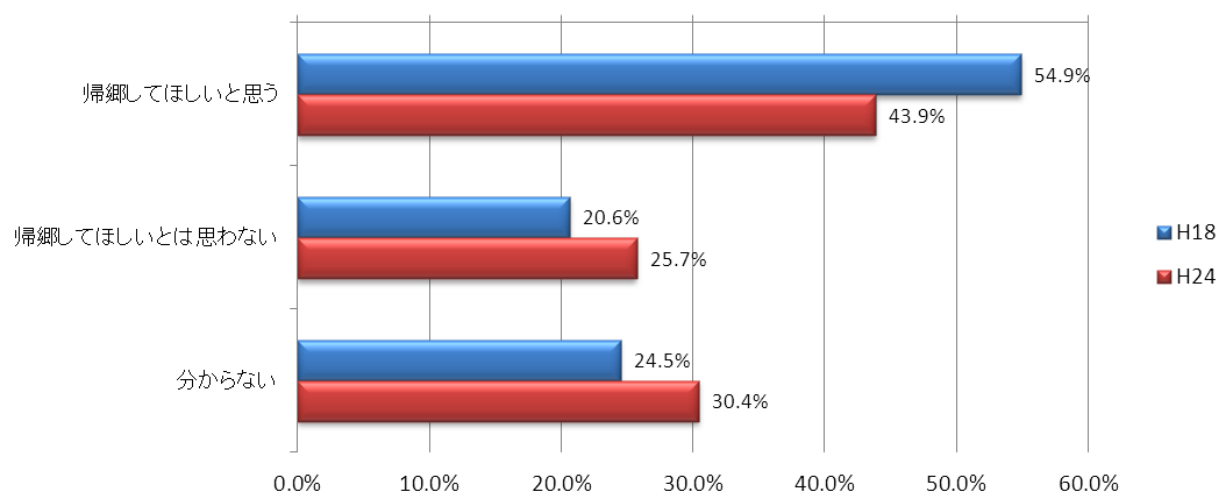
「仕事がないから」を選ばれた方は 12.9%から 22.4%へ増加しました。



<U ターンの促進>

①転出している子ども（孫）への帰郷期待意識

「帰郷してほしいと思う」と答えた方の割合は 54.9%から 43.9%に減少し、「帰郷してほしいとは思わない」と答えた方は 20.6%から 25.7%に増加しました。



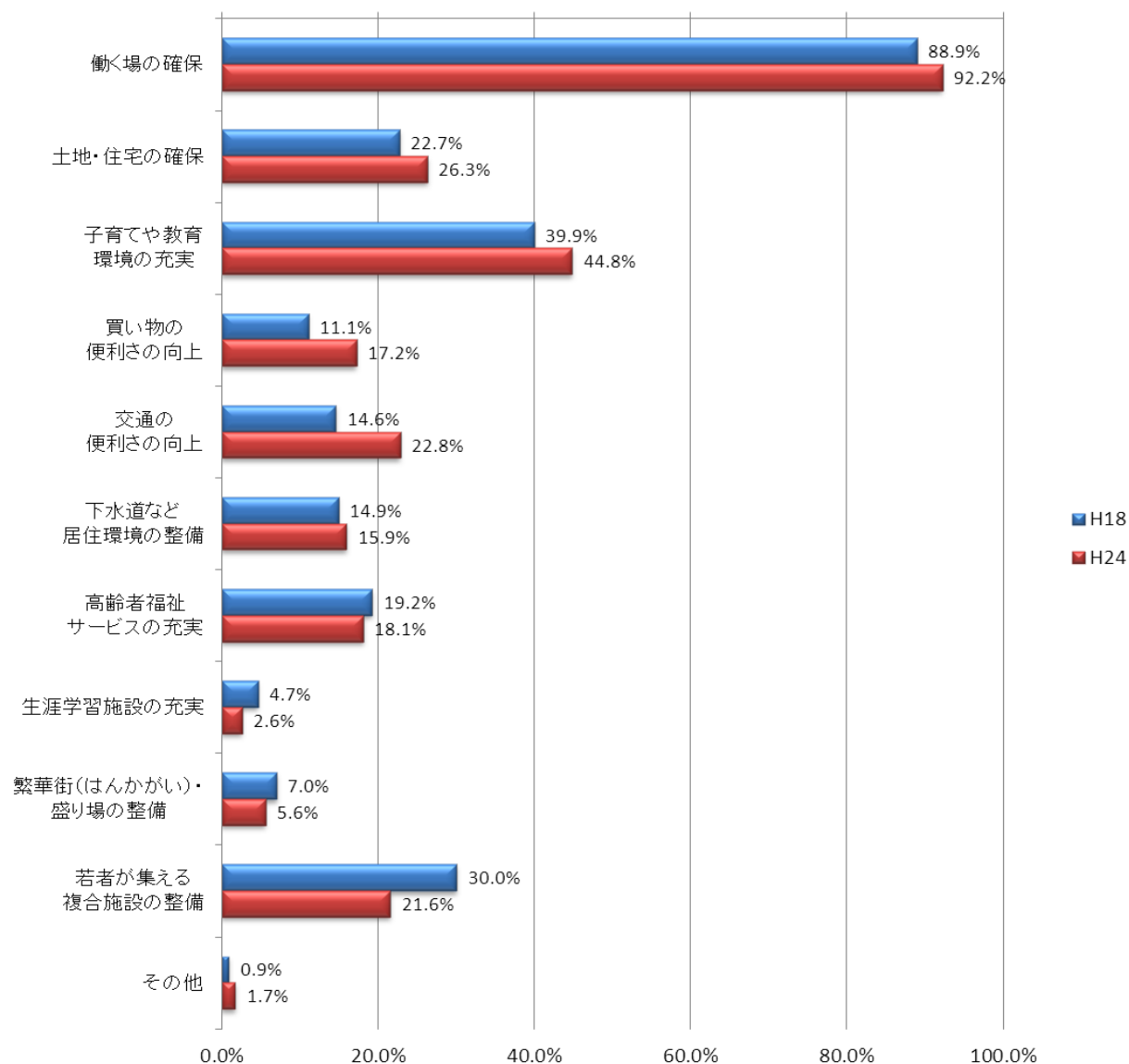
②子ども（孫）の帰郷に必要な施策

「働く場の確保」と答えた方が**92.2%**と最も多く、「子育てや教育環境の充実」が**44.8%**、「土地・住宅の確保」が**26.3%**と続いています。

「働く場の確保」の割合は、前回調査時も今回も1位でした。

「買い物の便利さの向上」の割合は11.1%から**17.2%**へ、「交通の便利さの向上」の割合は14.6%から**22.8%**へ増加しました。

「生涯学習施設の充実」と答えた方は4.7%から**2.6%**へ、「若者が集える複合施設の整備」と答えた方は30.0%から**21.6%**へ減少しました。

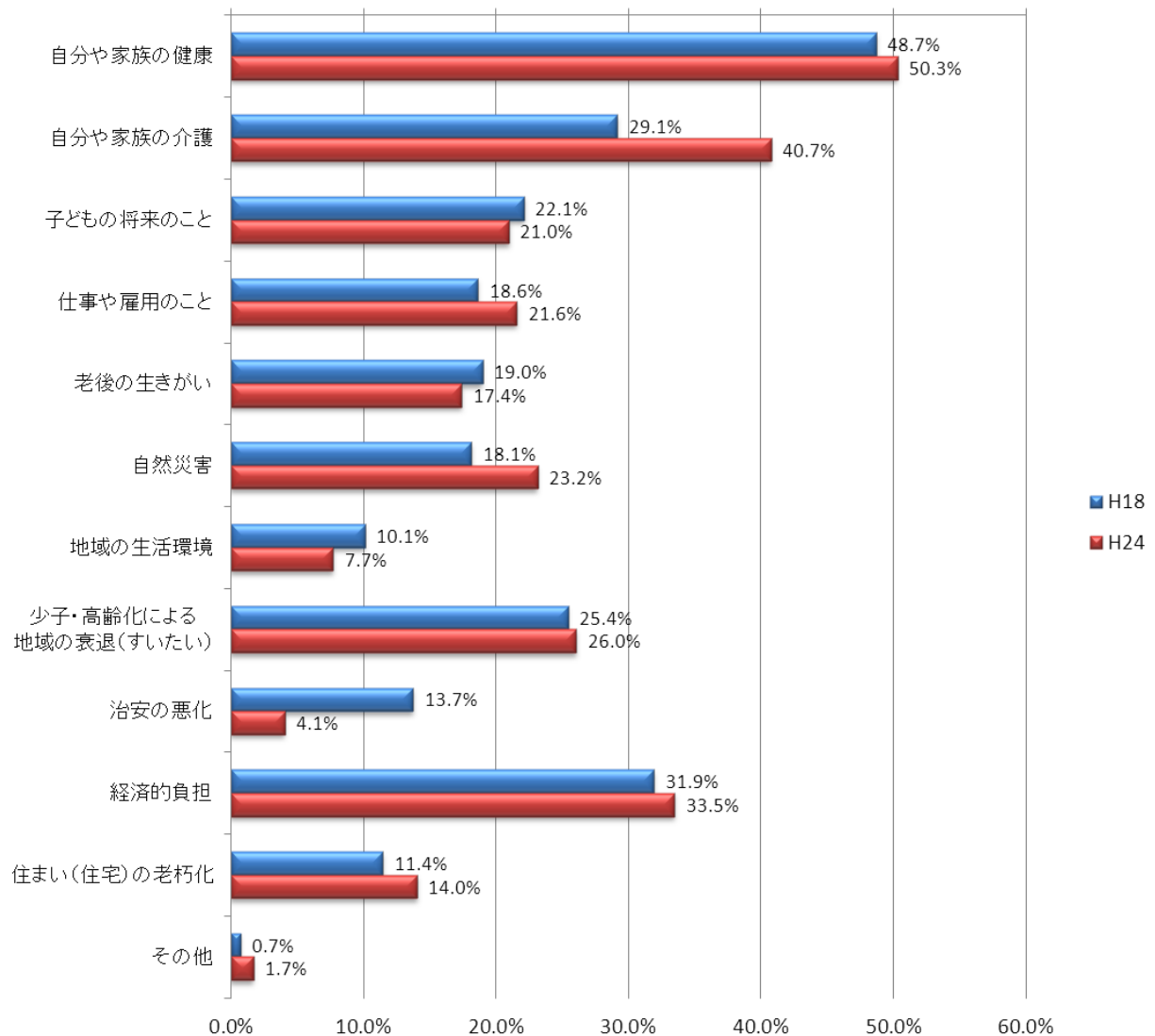


＜将来への不安＞

「自分や家族の健康」(50.3%)、「自分や家族の介護」(40.7%)、「経済的負担」(33.5%)が多く選ばれています。

「自分や家族の介護」の割合は29.1%から40.7%に、「自然災害」の割合は18.1%から23.2%に増加しています。

「治安の悪化」の割合は13.7%から4.1%に減少しています。



2.中学生アンケート編

◇アンケート概要及び回答者属性

(1) 調査の対象

①対象者

市内の中学2年生を対象にしました。

②調査の方法

各中学校による配布・回収を行い、無記名回答方式としました。

③調査期間

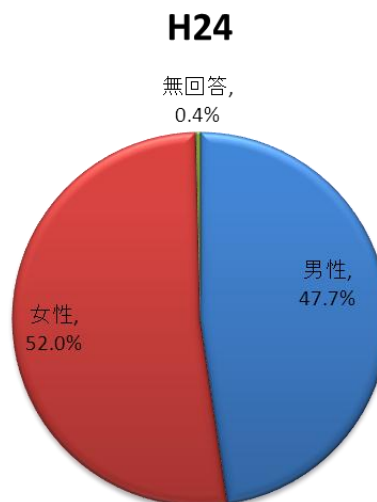
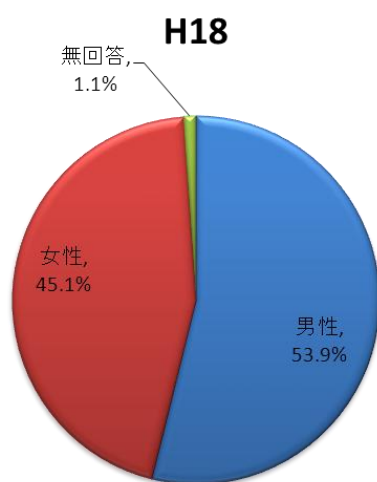
平成24年7月6日～7月20日

④回答状況

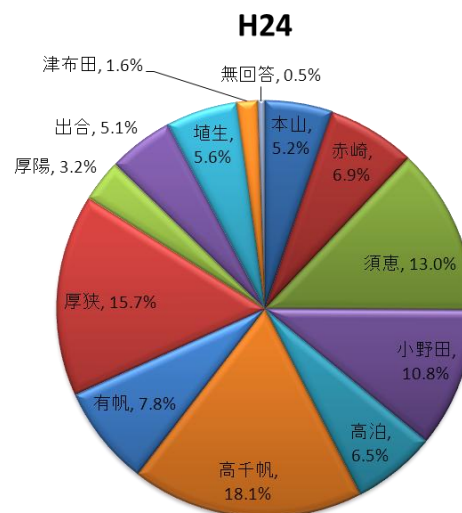
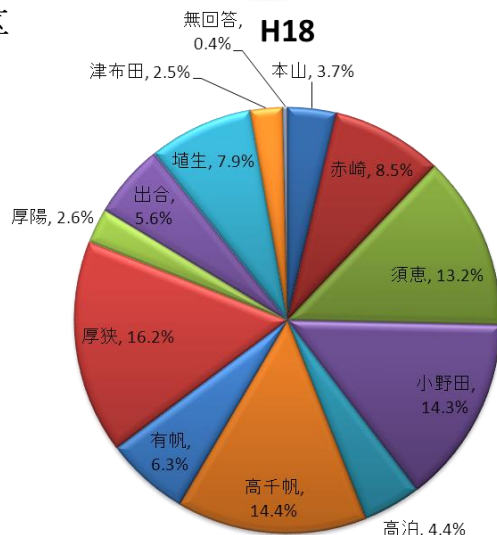
	H18	H24
配布数	598	565
回収数	568	554
回答率	94.98%	98.05%

(2) 回答者の属性

①性別



②校区



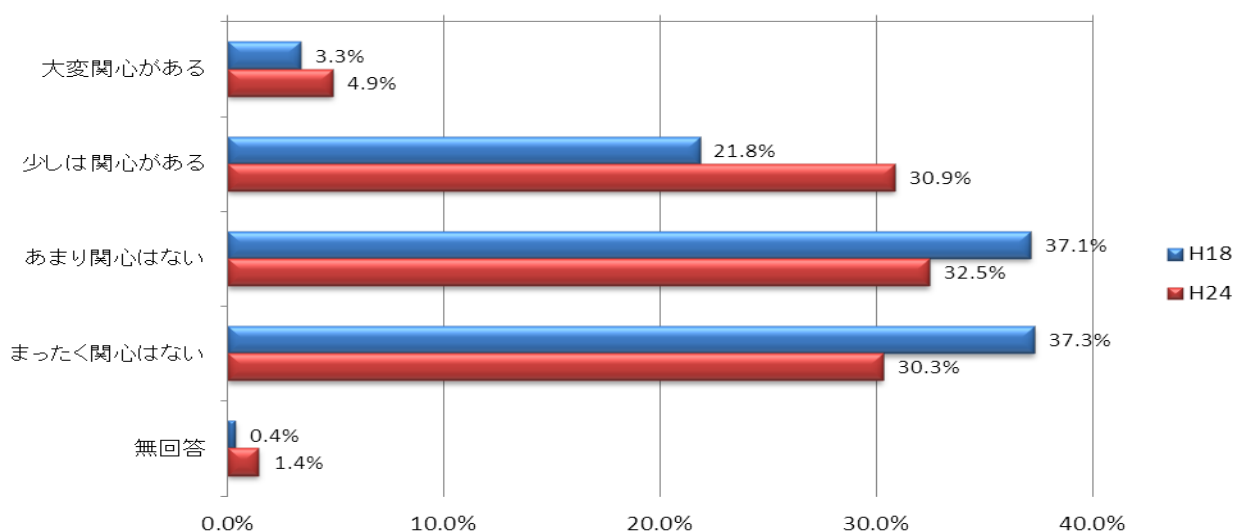
◇市役所の仕事への関心

①市役所の仕事への関心度

「あまり関心はない」又は「まったく関心はない」と答えた方の割合（62.8%）が、「大変関心がある」又は「少しは関心がある」と答えた方の割合（35.8%）を上回っています。

「大変関心がある」と答えた方の割合は、3.3%から4.9%に、「少しは関心がある」と答えた方の割合は21.8%から30.9%に増加しました。

「あまり関心はない」と答えた方の割合は37.1%から32.5%へ、「まったく関心はない」と答えた方の割合は37.3%から30.3%へ減少しました。

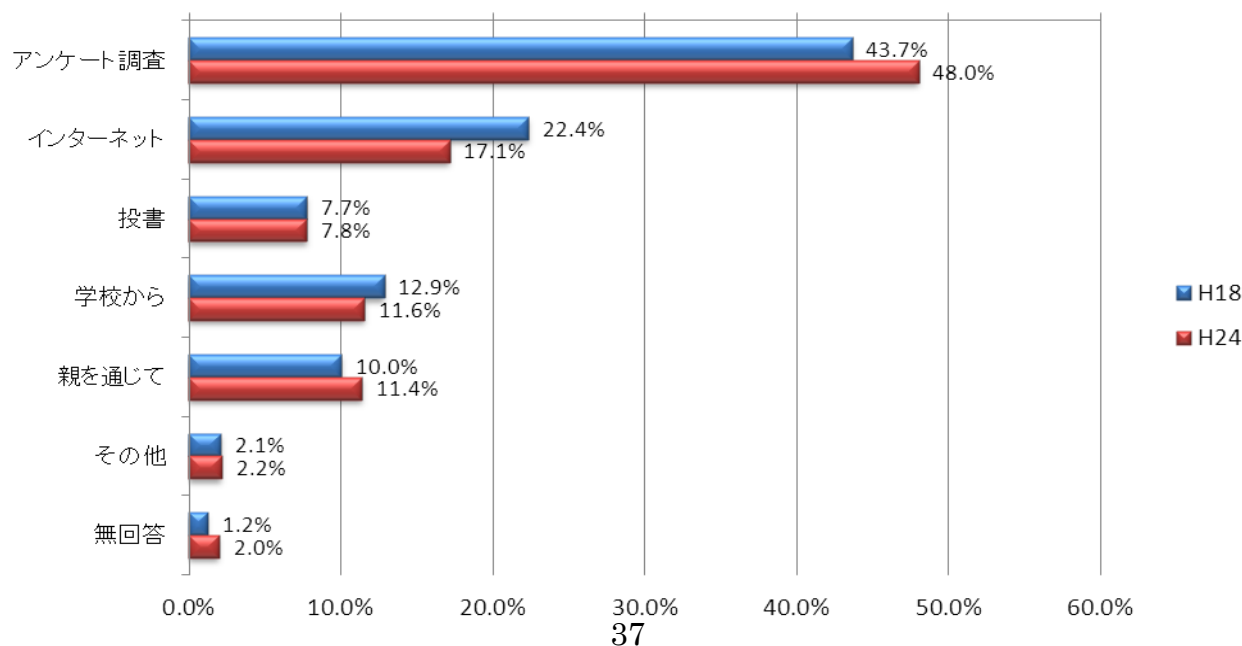


②望ましい市へ意見を言う方法

「アンケート調査」（48.0%）、インターネット（17.1%）が多く選ばれています。

「アンケート調査」と答えた方の割合が43.7%から48.0%へ増加しました。

「インターネット」と答えた方の割合が22.4%から17.1%に減少しました。



◇山陽小野田市の住み心地

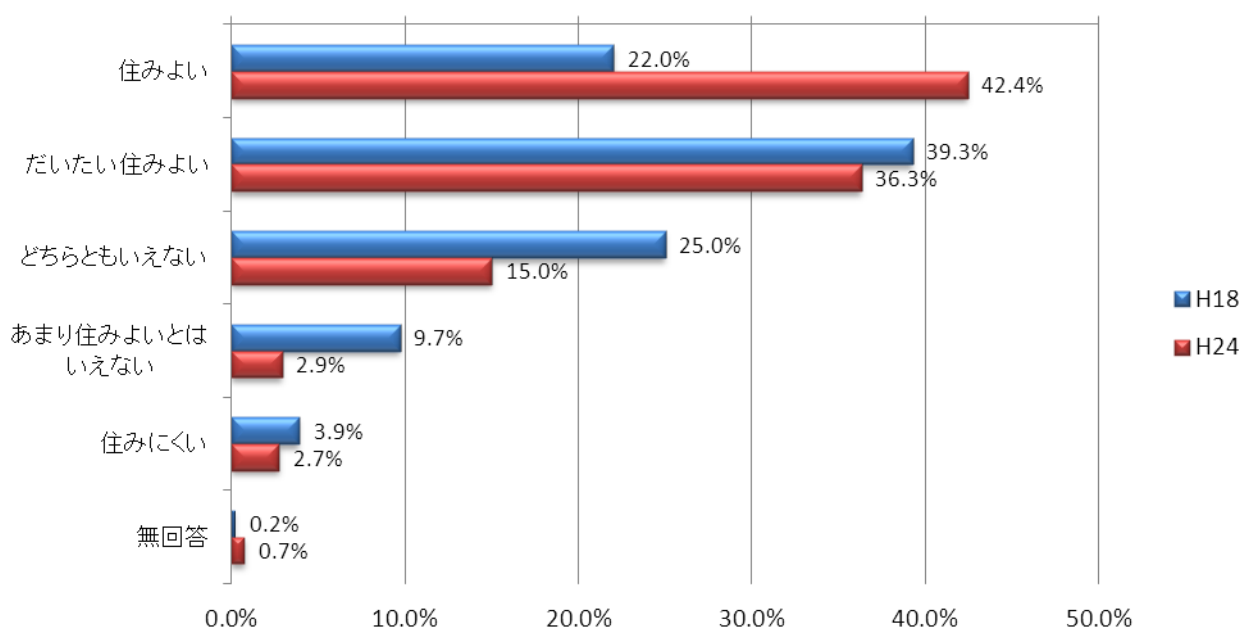
①山陽小野田市の住み心地

「住みよい」又は「だいたい住みよい」と答えた方の割合（78.7%）が、「あまり住みよいとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合（5.6%）を上回りました。

「住みよい」と答えた方の割合は22.0%から42.4%に増加しました。

「あまり住みよいとはいえない」と答えた方の割合は9.7%から2.9%に減少しました。

「住みよい」又は「だいたい住みよい」と答えた方の割合は、61.3%から78.7%に増加しました。

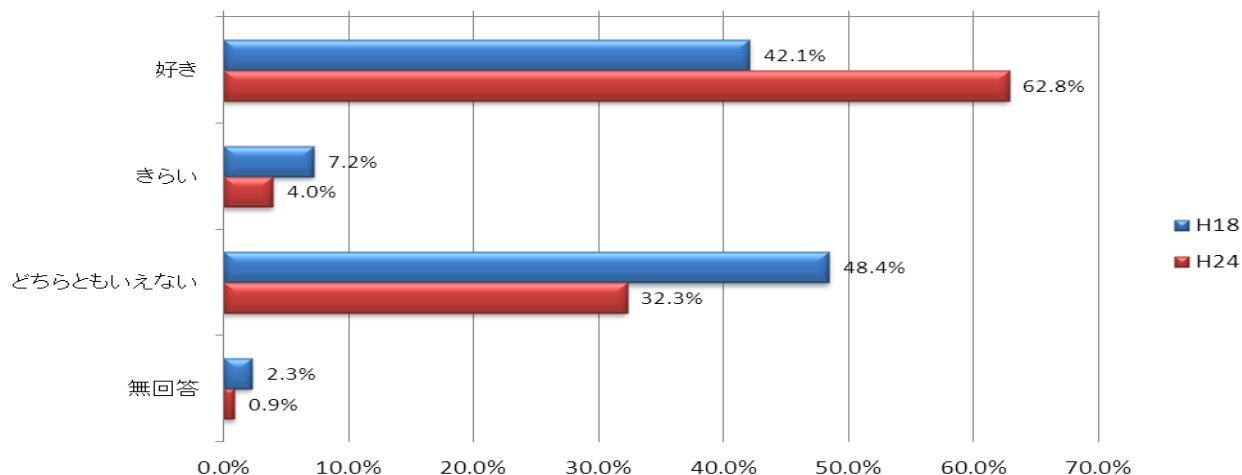


②「自分のまち」の好き・きれい

「好き」と答えた方の割合（62.8%）が「きれい」と答えた方の割合（4.0%）を上回りました。

「好き」と答えた方の割合は42.1%から62.8%に増加しました。

「きれい」と答えた方の割合は7.2%から4.0%に減少しました。



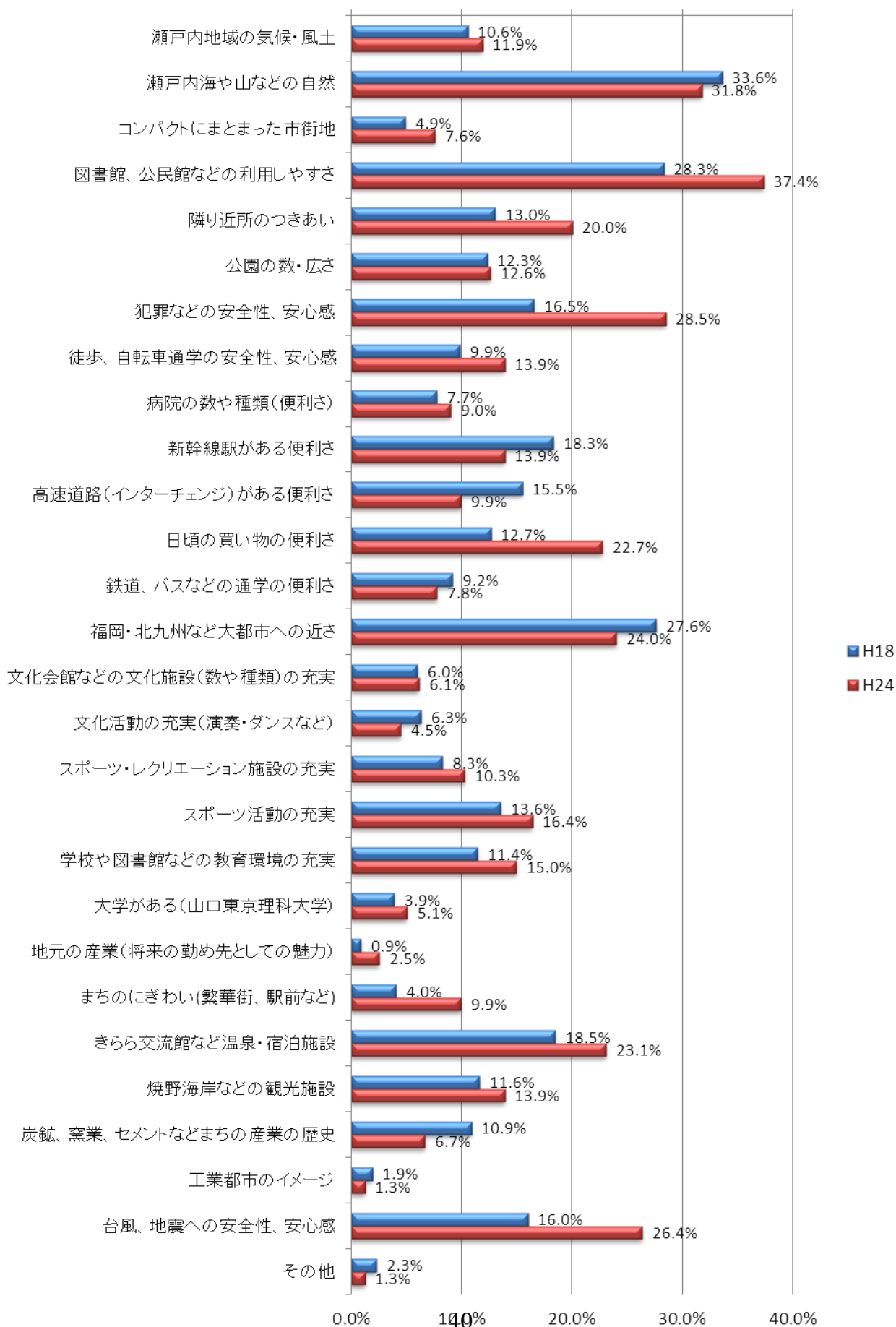
③山陽小野田市の好きなところ

山陽小野田市の好きなところとして、「図書館、公民館などの利用しやすさ」(37.4%)、「瀬戸内海や山などの自然」(31.8%)、「犯罪などの安全性、安心感」(28.5%)、「台風、地震への安全性、安心感」(26.4%)が多く選ばれています。

前回調査時より割合が増加した項目として、「コンパクトにまとまった市街地」(4.9%→7.6%)、「図書館、公民館などの利用のしやすさ」(28.3%→37.4%)、「隣り近所のつきあい」(13.0%→20.0%)、「犯罪などの安全性、安心感」(16.5%→28.5%)、「日頃の買い物の便利さ」(12.7%→22.7%)、「地元の産業(将来の勤め先としての魅力)」(0.9%→2.5%)、「まちのにぎわい(繁華街、駅前など)」(4.0%→9.9%)、「台風、地震への安全性、安心感」(16.0%→26.4%)等がありました。

前回調査時より割合が減少した項目として、「高速道路(インターチェンジ)がある便利さ」(15.5%→9.9%)、「炭鉱、窯業、セメントなどまちの産業の歴史」(10.9%→6.7%)、「工業都市のイメージ」(1.9%→1.3%)等がありました。

山陽小野田市の好きなところ



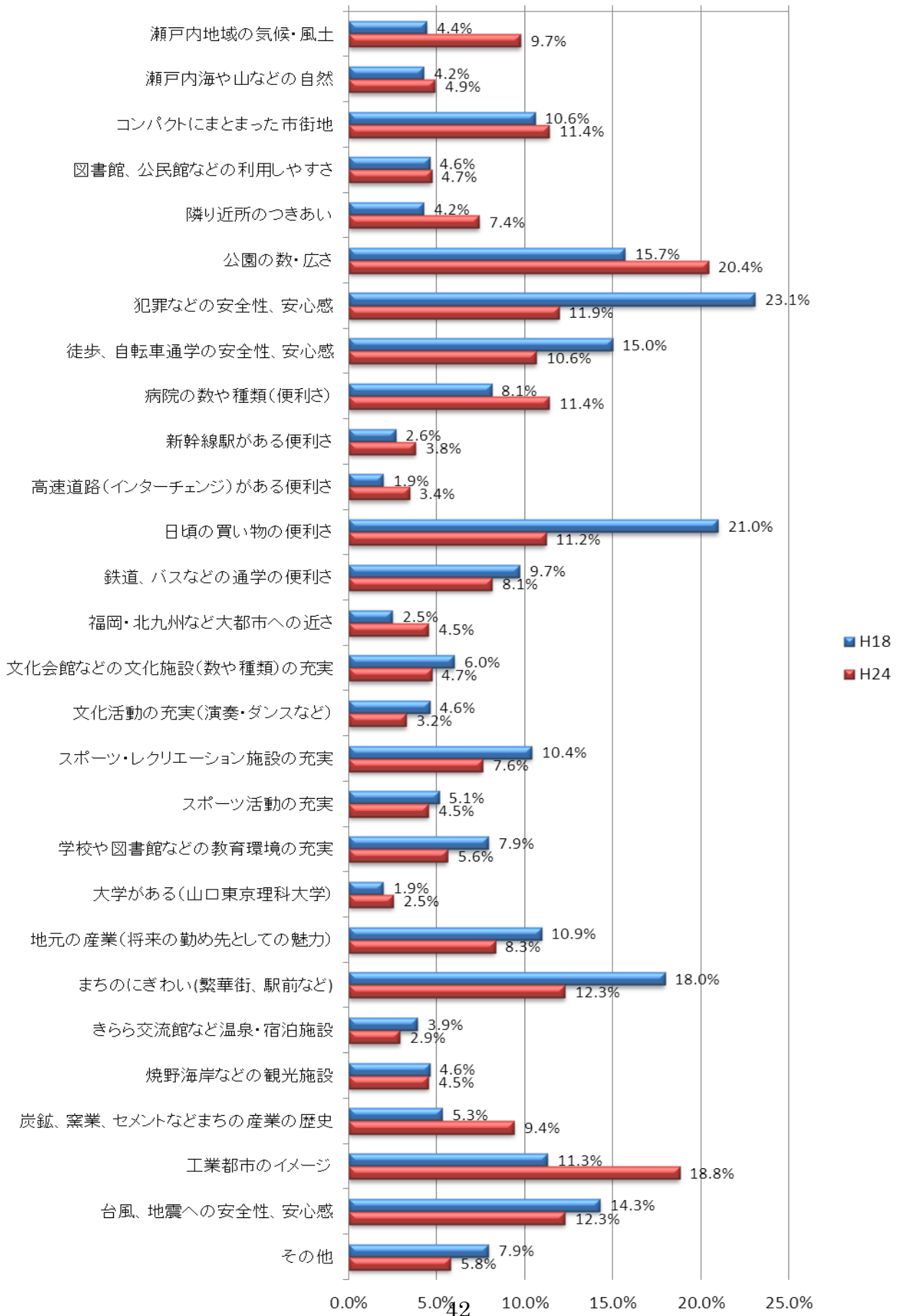
④山陽小野田市のきれいなところ

山陽小野田市のきれいなところとして、「公園の数・広さ」(20.4%)、「工業都市のイメージ」(18.8%)、「まちのにぎわい(繁華街、駅前など)」(12.3%)、「台風、地震への安全性、安心感」(12.3%)が多く選ばれています。

前回調査時より割合が減少した項目として、「犯罪などの安全性、安心感」(23.1%→11.9%)、「徒歩、自転車通学の安全性、安心感」(15.0%→10.6%)、「日頃の買い物の便利さ」(21.0%→11.2%)、「まちのにぎわい(繁華街、駅前など)」(18.0%→12.3%)等がありました。

前回調査時より割合が増加した項目として、「瀬戸内地域の気候・風土」(4.4%→9.7%)、「隣り近所のつきあい」(4.2%→7.4%)、「公園の数・広さ」(15.7%→20.4%)、「高速道路(インターチェンジ)がある便利さ」(1.9%→3.4%)、「福岡・北九州など大都市への近さ」(2.5%→4.5%)、「炭鉱、窯業、セメントなどまちの産業の歴史」(5.3%→9.4%)、「工業都市のイメージ」(11.3%→18.8%)等がありました。

山陽小野田市のきれいなところ



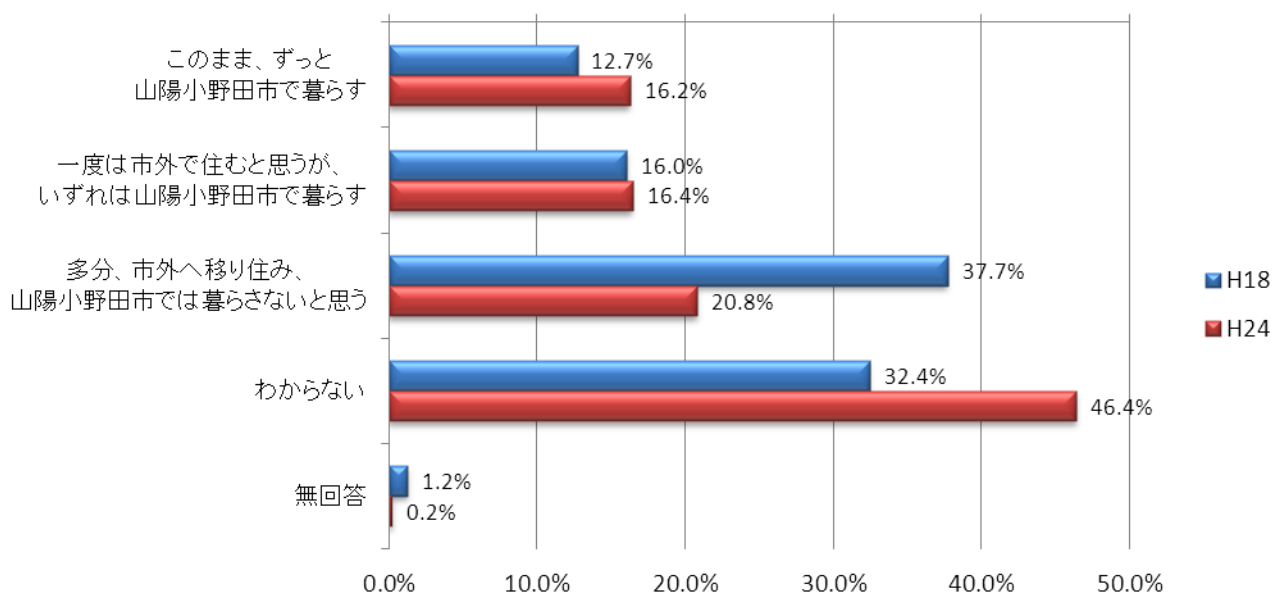
◇あなたの将来について

<今後の居住意向>

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」又は「一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合（32.6%）が「多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う」と答えた方の割合（20.8%）を上回っています。

「多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う」と答えた方が 37.7%から 20.8%に減少しました。

「わからない」と答えた方が 32.4%から 46.4%に増加しました。

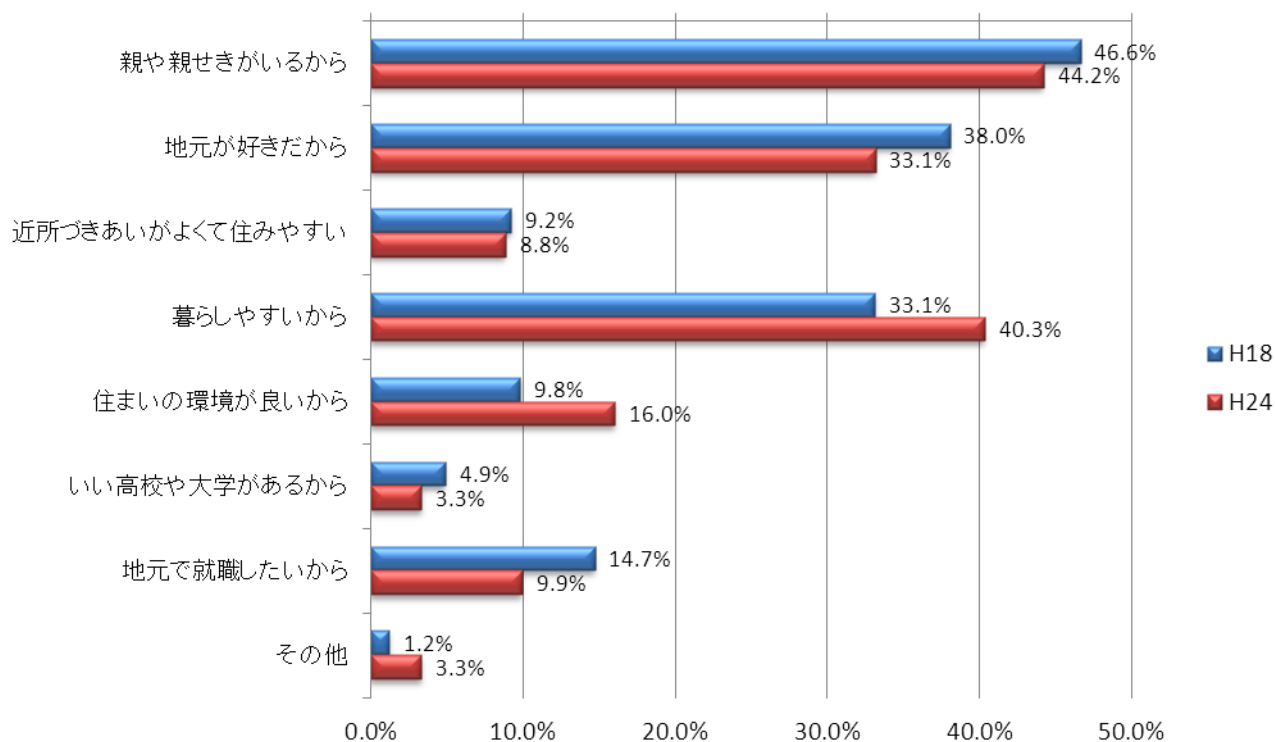


②将来も山陽小野田市に住み続けたいと思う理由

「親や親せきがいるから」(44.2%)、「暮らしやすいから」(40.3%)、「地元が好きだから」(33.1%)が多く選ばれています。

「暮らしやすいから」が33.1%から40.3%に、「住まいの環境が良いから」が9.8%から16.0%に増加しました。

「いい高校や大学があるから」が4.9%から3.3%に、「地元で就職したいから」が14.7%から9.9%に減少しました。

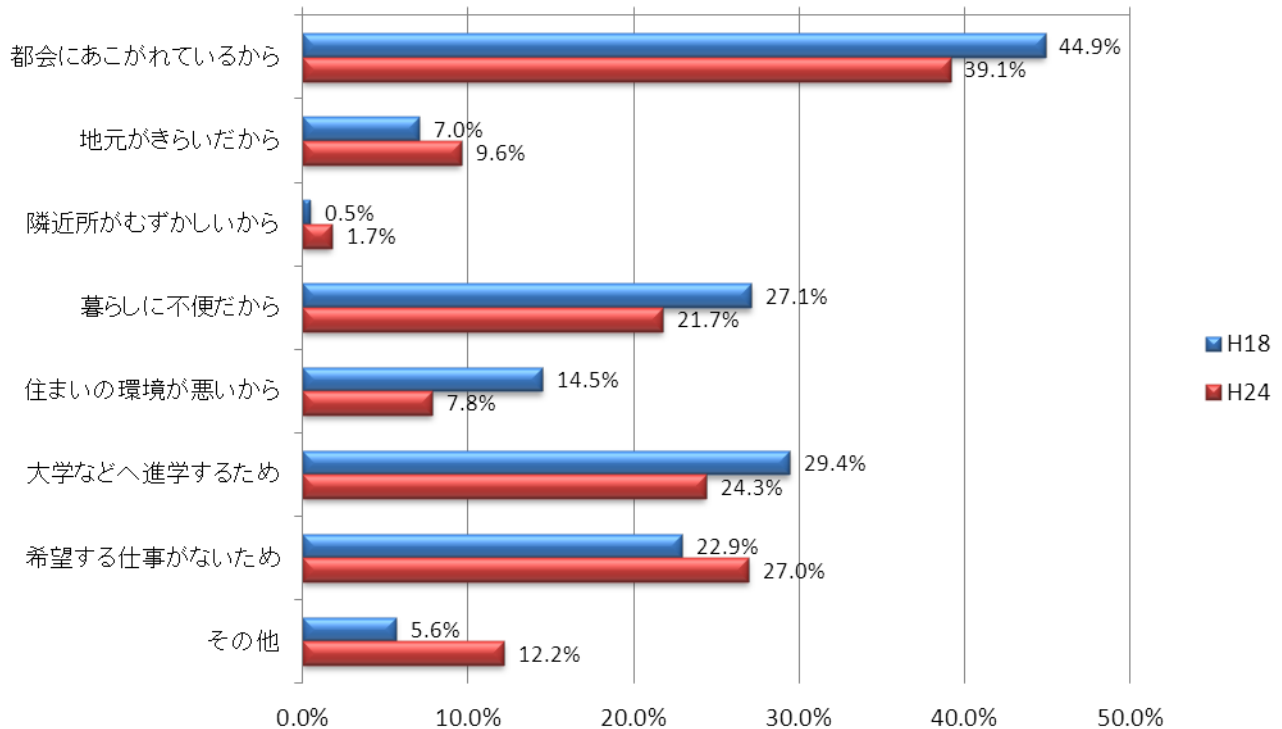


③将来、市外で暮らすと思う理由

「都会にあこがれているから」(39.1%)、「希望する仕事がないため」(27.0%)、「大学などへ進学するため」(24.3%)、「暮らしに不便だから」(21.7%)が多く選ばれています。

「住まいの環境が悪いから」が14.5%から7.8%に減少しました。

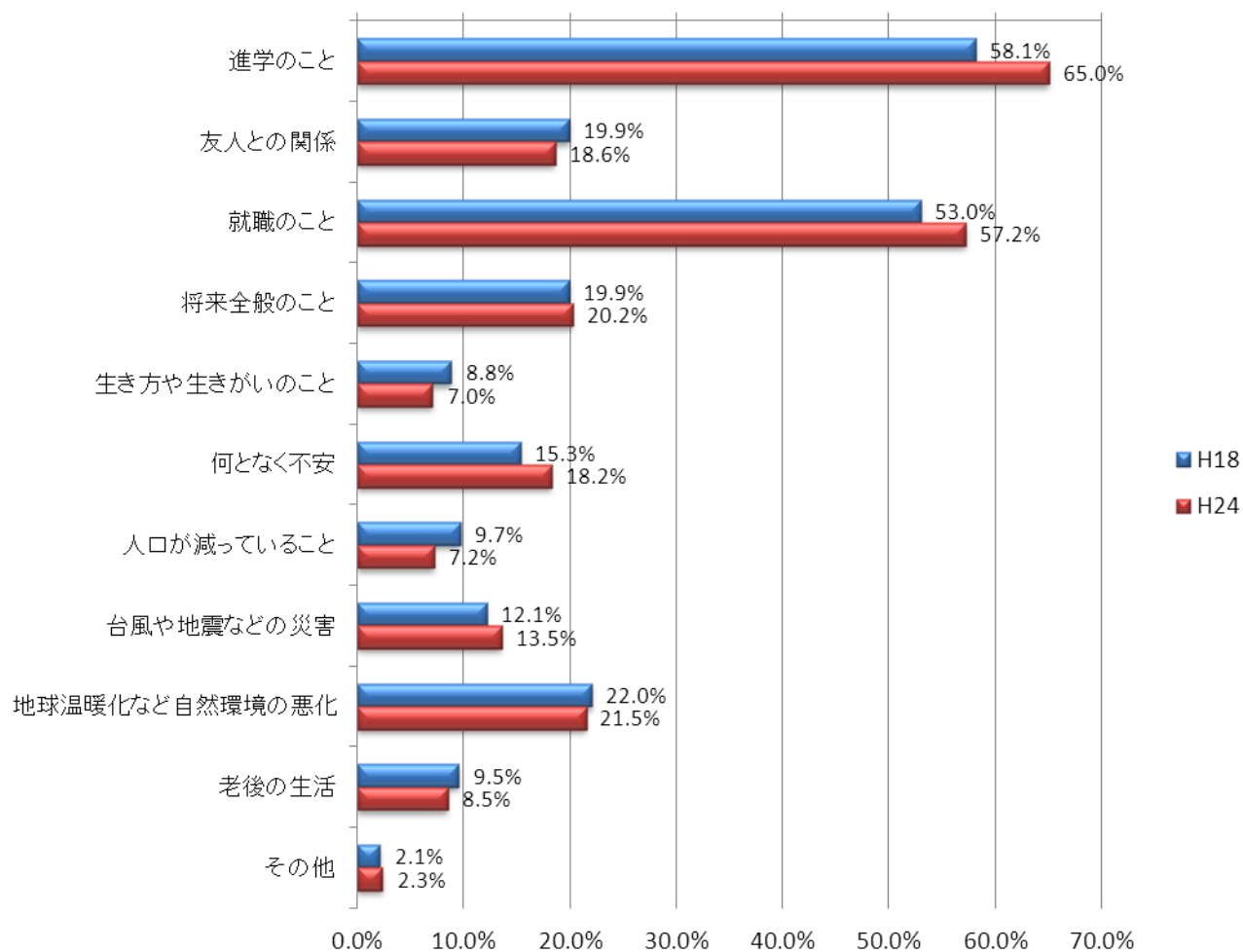
「隣近所がむずかしいから」が0.5%から1.7%に増加しました。



<将来への思い>

①将来への不安

「進学のこと」(65.0%)、「就職のこと」(57.2%)が多く選ばれています。

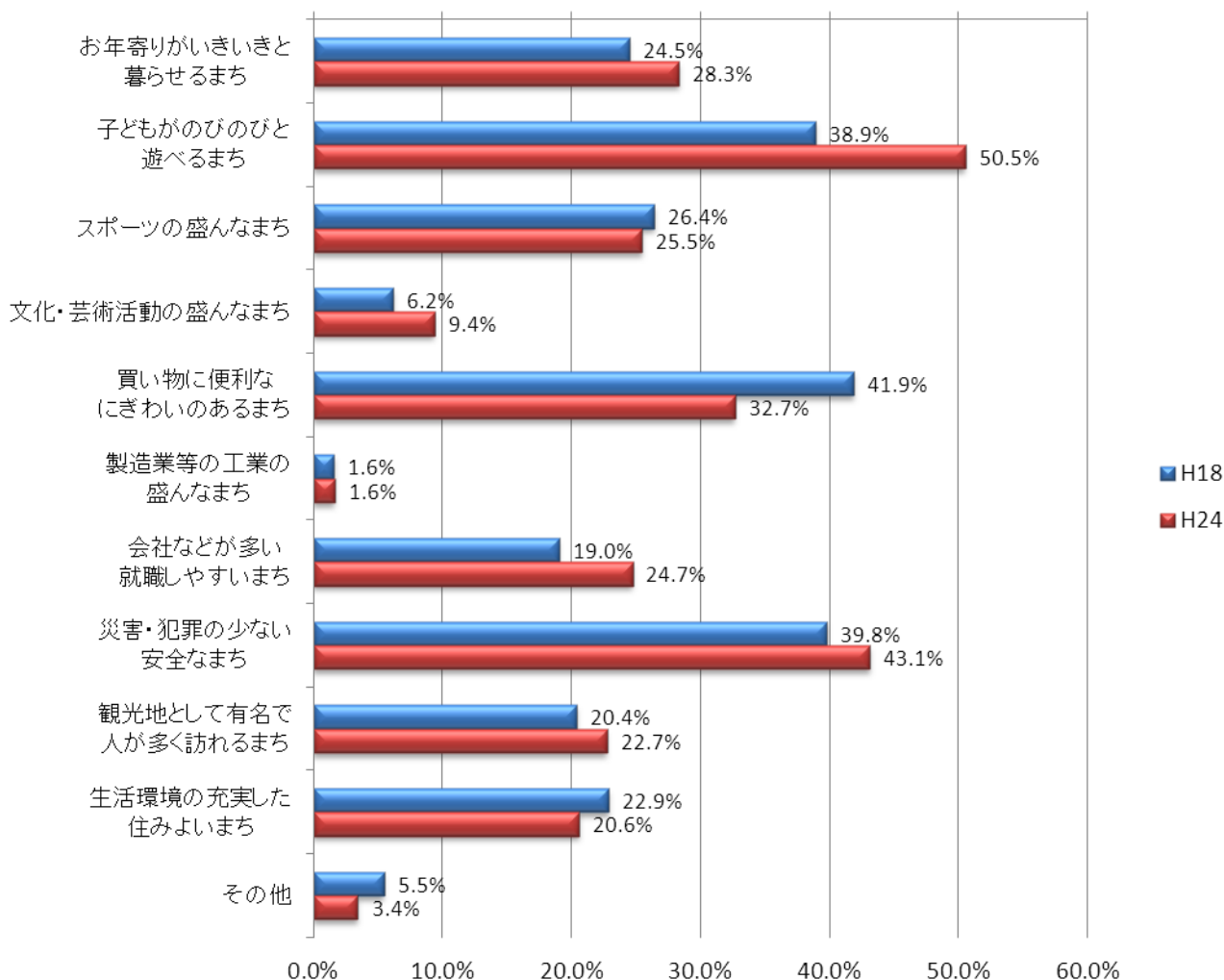


◇今後のまちづくりについて

「子どもがのびのびと遊べるまち」(50.5%)、「災害・犯罪の少ない安全なまち」(43.1%)、「買い物に便利なにぎわいのあるまち」(32.7%)が多く選ばれています。

「子どもがのびのびと遊べるまち」が 38.9%から 50.5%に、「文化・芸術活動の盛んなまち」が 6.2%から 9.4%に増加しました。

「買い物に便利なにぎわいのあるまち」が 41.9%から 32.7%に減少しました。



3.職員アンケート編

◇アンケート概要及び回答者属性

(1) 調査の方法

①対象者

山陽小野田市職員（特別職、臨時職員を除く）全員を対象にしました。

②調査の方法

WEB 申請及び調査票配布により行いました。無記名回答方式としました。

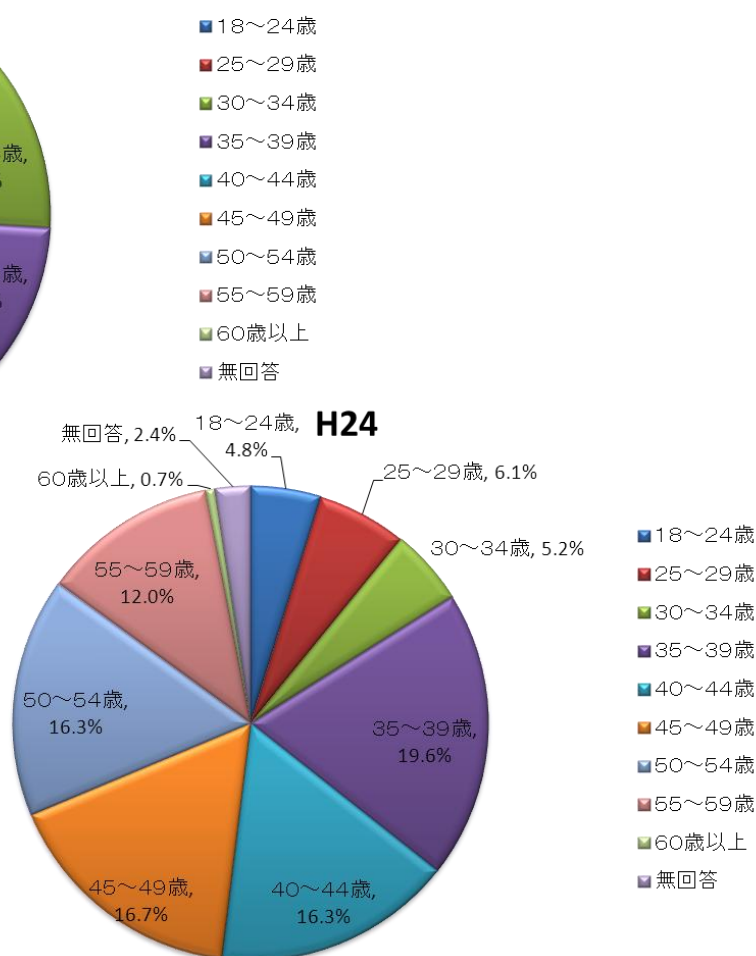
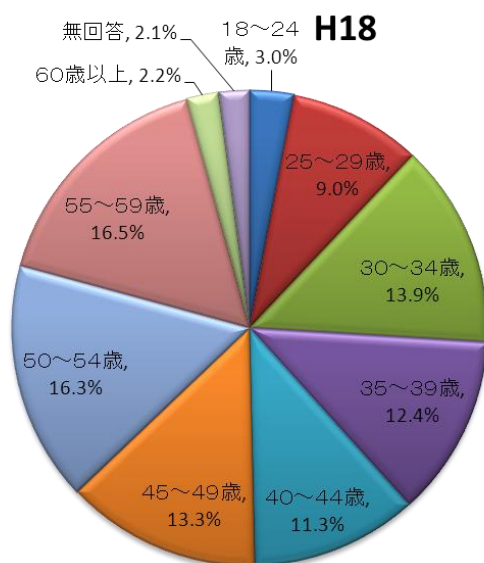
③調査期間

平成 24 年 7 月 日～8 月 3 日

④回答状況

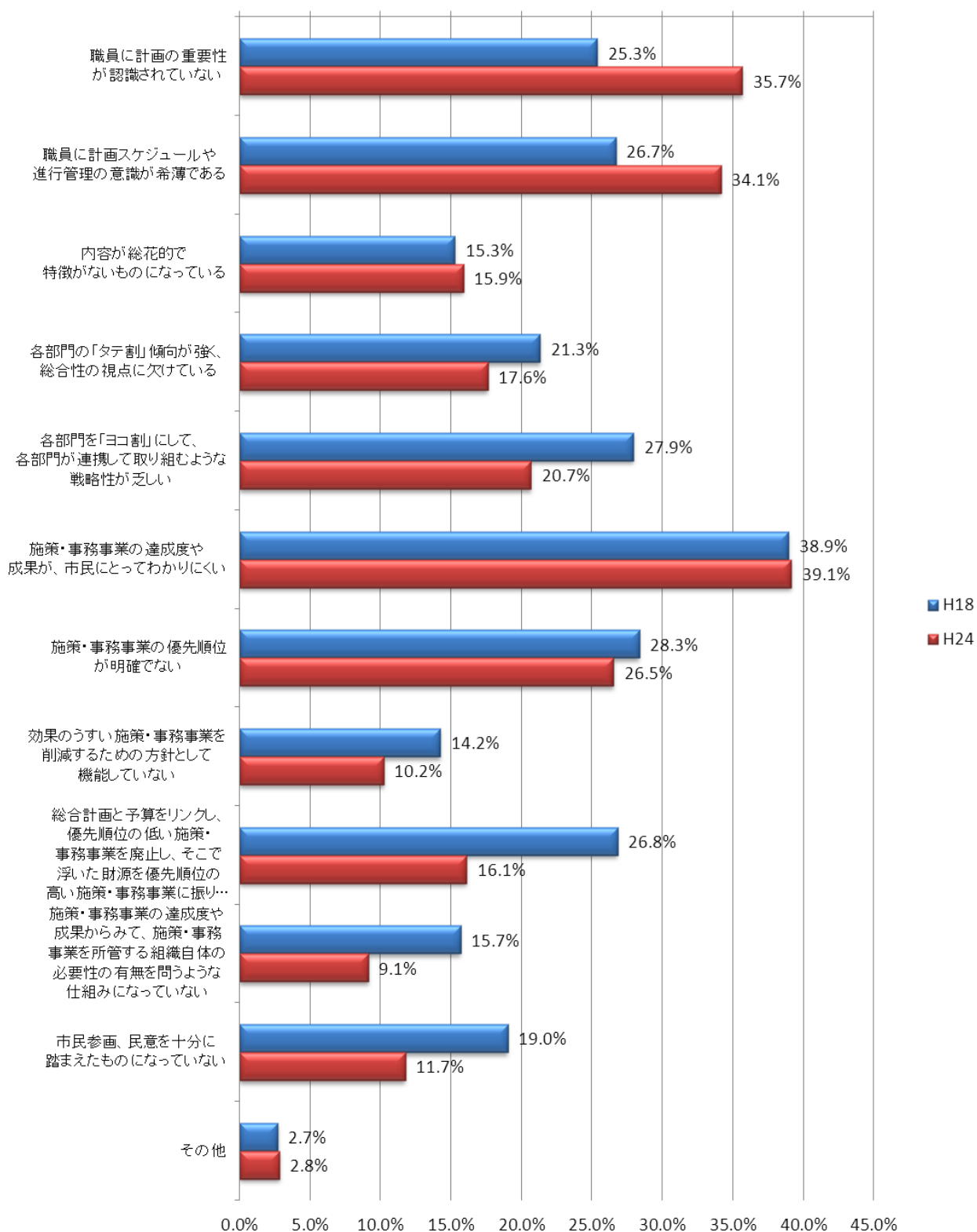
	H18	H24
配布数	1,083	791
回収数	963	460
回答率	88.92%	58.15%

(2) 回答者の属性

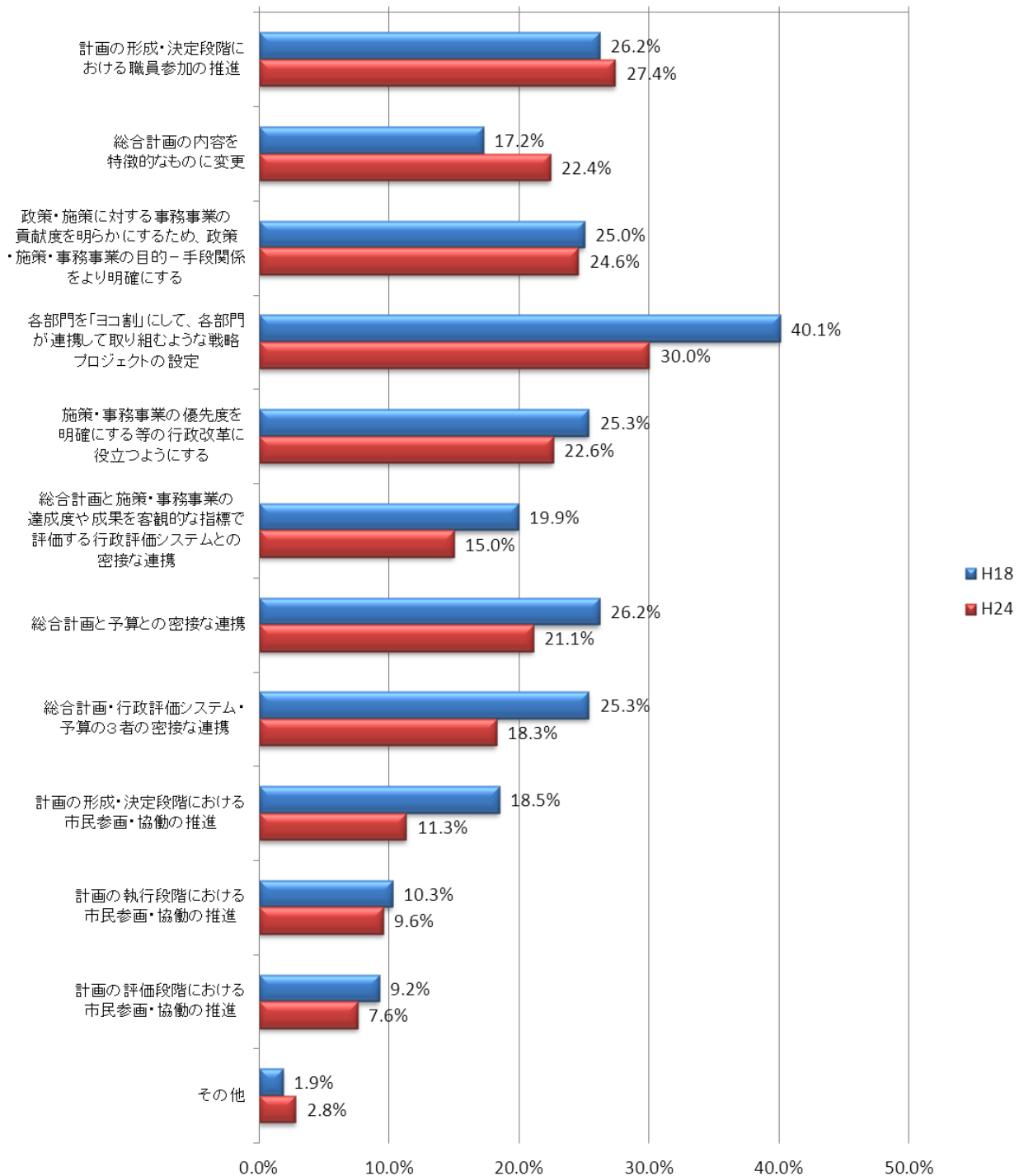


◇総合計画に対する考えについて

①将来の総合計画や行財政運営の問題点・課題



②従来の総合計画の改善方法



◇市政に対する今後の方向

＜分野別施策の優先度＞

①市民主役の行政運営の確立

「地域リーダー・人材の育成」については、「あまり優先しなくて良い」4.8%から2.2%に減少しました。

「行財政改革の推進」については、「優先すべき」が59.2%から28.9%に減少し、「これまでどおり」が35.8%から65.7%に、「あまり優先しなくて良い」が1.3%から2.8%に増加しました。

「情報公開の推進」については、「優先すべき」が27.8%から17.4%に減少しました。

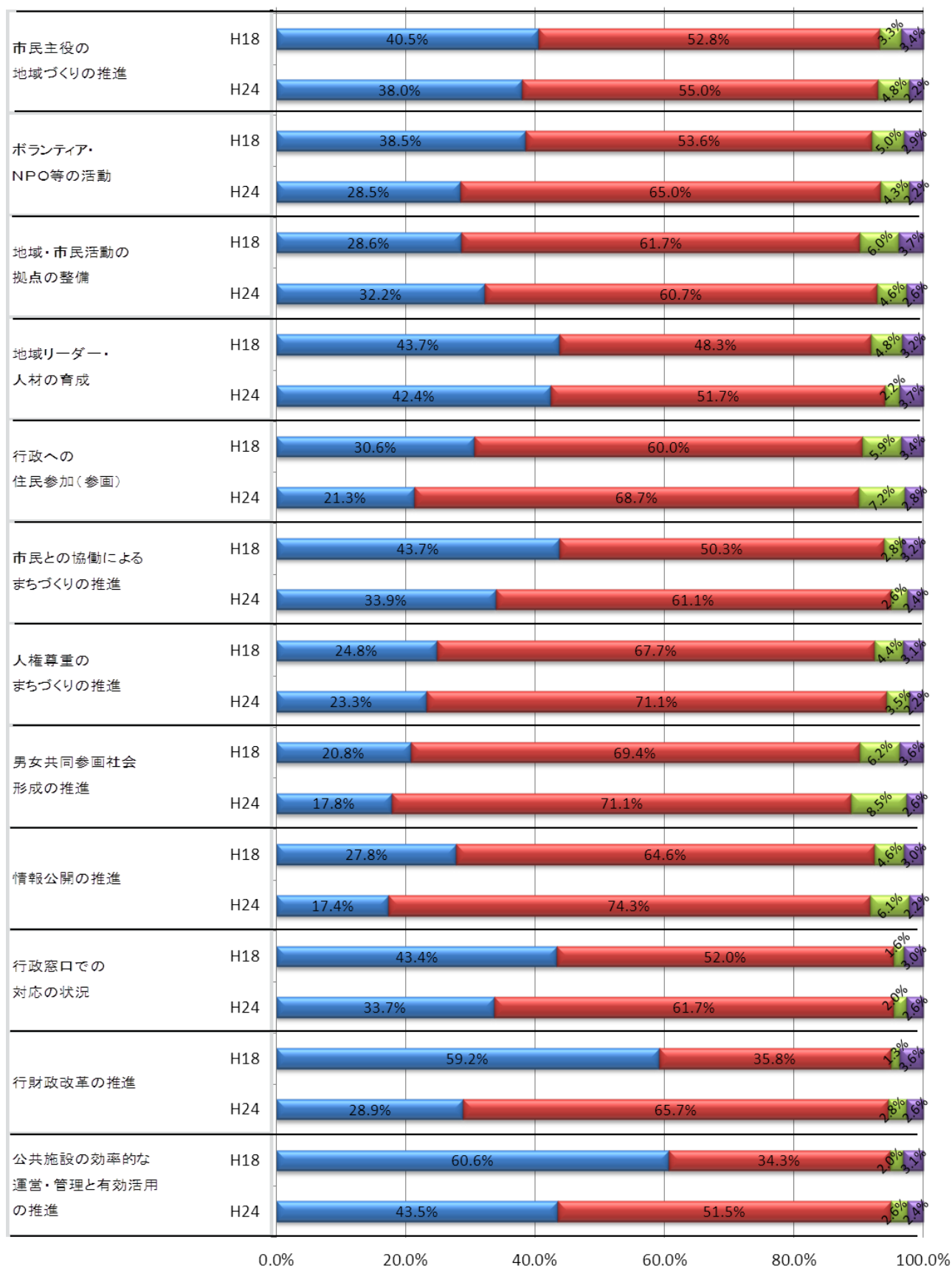
「行政窓口での対応の状況」については、「優先すべき」が43.4%から33.7%に減少しました。

「公共施設の効率的な運営・管理と有効活用の推進」については、「優先すべき」が60.6%から43.5%に減少し、「これまでどおり」が34.3%から51.5%に増加しました。

参考：市民アンケートとの比較

	職員アンケート	市民アンケート
1位	公共施設の効率的な運営・管理と有効活用の推進（43.5%）	公共施設等の効率的な運営（37.3%）
2位	地域リーダー・人材の育成（42.4%）	市民主役の地域づくりの推進（35.9%）
3位	市民主役の地域づくりの推進（38.0%）	行財政改革の推進（33.8%）
4位	市民との協働によるまちづくりの推進（33.9%）	住民参加、協働のまちづくりの推進（25.8%）
5位	行政窓口での対応の状況（33.7%）	ボランティア・NPO・市民活動の充実（16.4%）

■ 優先すべき
 ■ これまでどおり
 ■ あまり優先しなくてよい
 ■ 無回答



②安心・安全環境の充実

「高齢者福祉施設の充足」については、「あまり優先しなくて良い」が7.7%から3.9%に減少しました。

「在宅介護支援体制の充実」については、「あまり優先しなくて良い」が2.2%から1.1%に減少しました。

「保育所などの子育て支援環境の充実」については、「あまり優先しなくて良い」が2.6%から0.9%に減少しました。

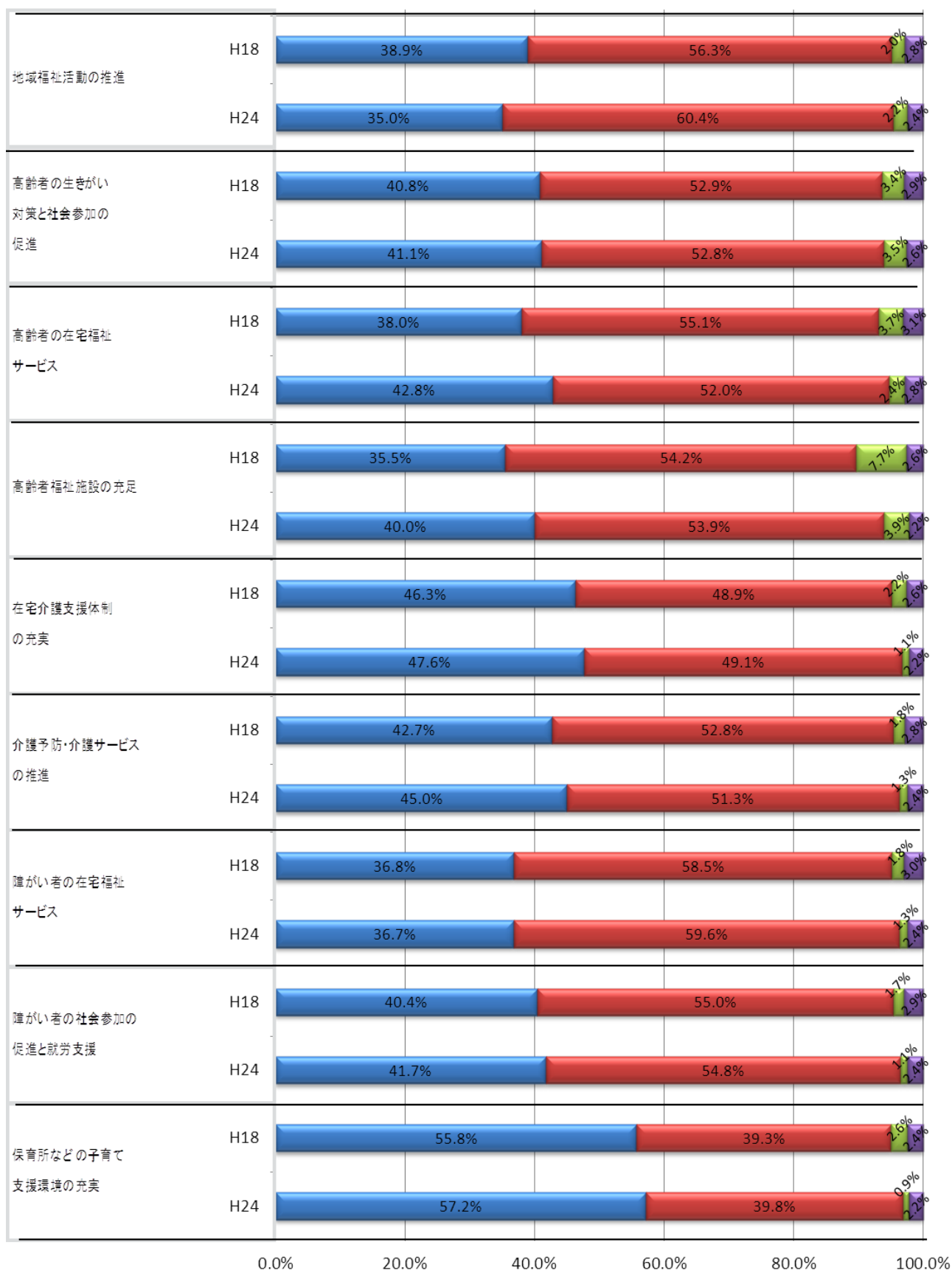
「健康維持増進のための保健サービス」については、「あまり優先しなくて良い」が4.4%から2.2%に減少しました。

「台風や地震時の防災対策の充実」については、「優先すべき」が55.7%から63.5%に増加し、「あまり優先しなくて良い」が0.8%から0.2%に減少しました。

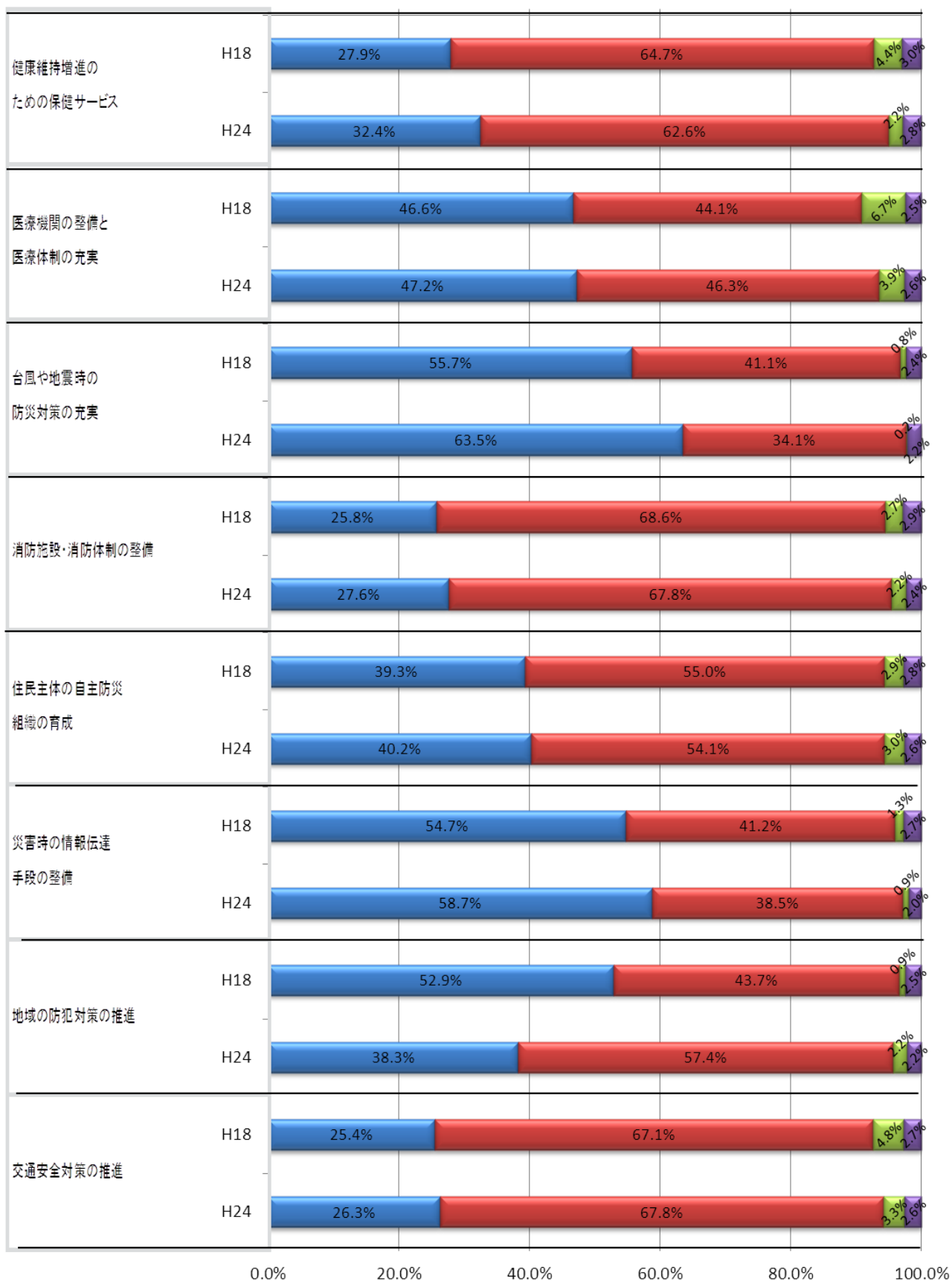
「地域の防犯対策の推進」については、「優先すべき」が52.9%から38.3%に減少し、「あまり優先しなくて良い」が0.9%から2.2%に増加しました。

	職員アンケート	市民アンケート
1位	台風や地震時の防災対策の充実 (63.5%)	医療体制の充実 (39.5%)
2位	災害時の情報伝達手段の整備 (58.7%)	高齢者福祉対策の充実 (29.8%)
3位	保育所などの子育て支援環境の充実 (57.2%)	防災対策の充実 (28.5%)
4位	在宅介護支援体制の充実 (47.6%)	子育て支援対策の充実 (21.0%)
5位	医療機関の整備と医療体制の充実 (47.2%)	防犯対策の充実 (18.2%)

■ 優先すべき ■ これまでどおり ■ あまり優先しなくてよい ■ 無回答



■ 優先すべき
 ■ これまでどおり
 ■ あまり優先しなくてよい
 ■ 無回答



③教育・文化環境の充実

「小学校・中学校の施設等の整備」については、「あまり優先しなくて良い」が5.6%から3.3%に減少しました。

「図書館や公民館等の生涯学習施設の充実」については、「優先すべき」が36.1%から24.1%に減少し、「あまり優先しなくて良い」が5.6%から8.3%に増加しました。

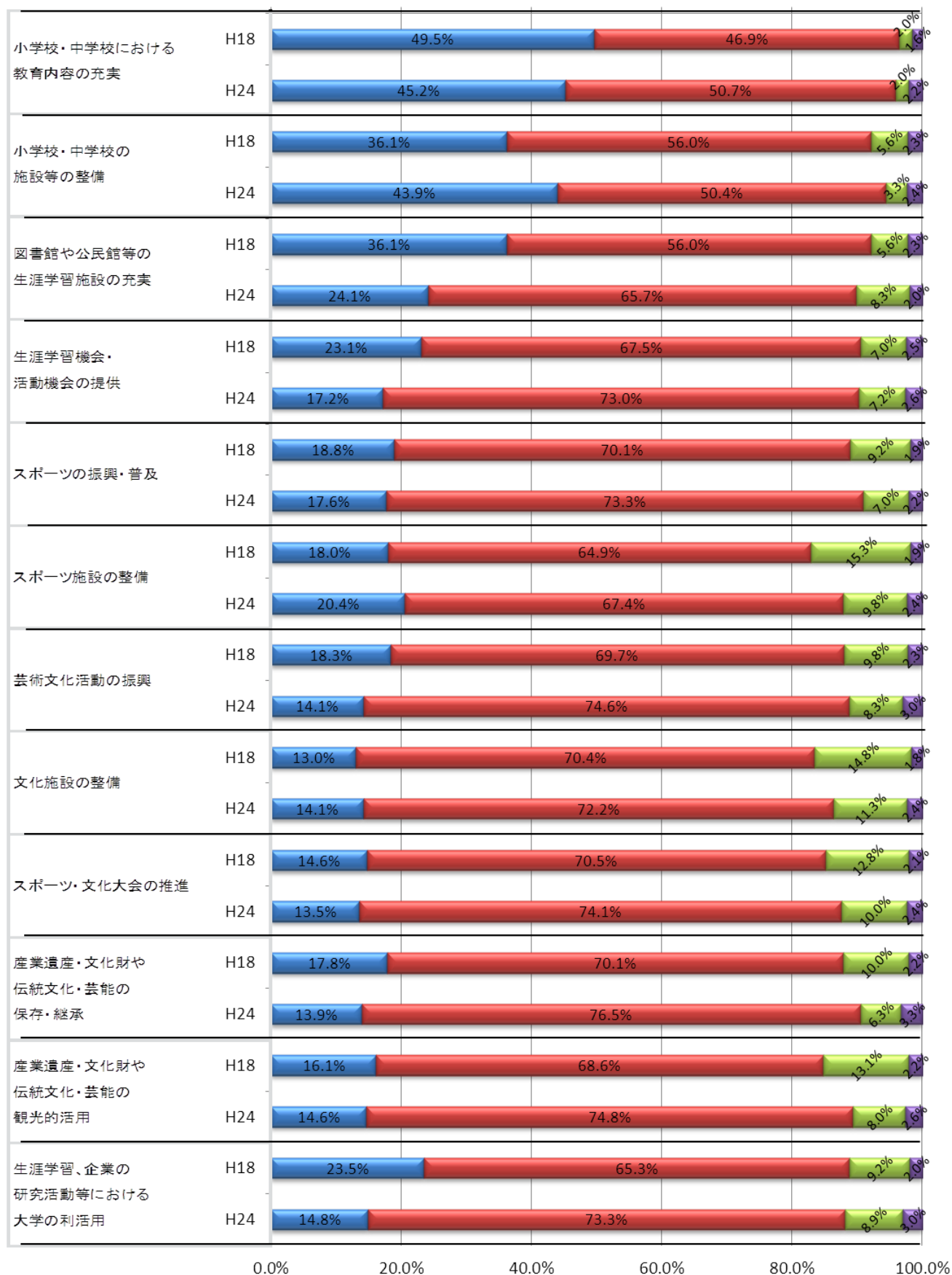
「スポーツ施設の整備」については、「あまり優先しなくて良い」が15.3%から9.8%に減少しました。

「産業遺産・文化財や伝統文化・芸能の保存・継承」については、「あまり優先しなくて良い」が10.0%から6.3%に減少しました。

「産業遺産・文化財や伝統文化・芸能の観光的活用」については、「あまり優先しなくて良い」が13.1%から8.0%に減少しました。

	職員アンケート	市民アンケート
1位	小学校・中学校における教育内容の充実 (45.2%)	小・中学校における教育内容の充実(49.3%)
2位	小学校・中学校の施設等の整備(43.9%)	小・中学校の整備と利活用(23.3%)
3位	図書館や公民館等の生涯学習施設の充実 (24.1%)	生涯学習機会、活動機会の提供(22.1%)
4位	スポーツ施設の整備(20.4%)	生涯学習施設の充実(13.5%)
5位	スポーツの振興・普及(17.6%)	芸術文化、伝統芸能の振興(12.7%)

■ 優先すべき
 ■ これまでどおり
 ■ あまり優先しなくてよい
 ■ 無回答



④にぎわい・活力環境の充実

「土地区画整理事業など計画的な土地利用の推進」については、「優先すべき」が 33.0%から 22.2%に減少しました。

「ＪＲ、バス等の地域生活交通の運行状況」については、「優先すべき」が 25.8%から 34.6%に増加しました。

「企業誘致や新しい産業の創出」については、「あまり優先しなくて良い」が 6.0%から 2.8%に減少しました。

「米・果樹・野菜・水産物等の販売の促進」については、「あまり優先しなくて良い」が 7.3%から 2.6%に減少しました。

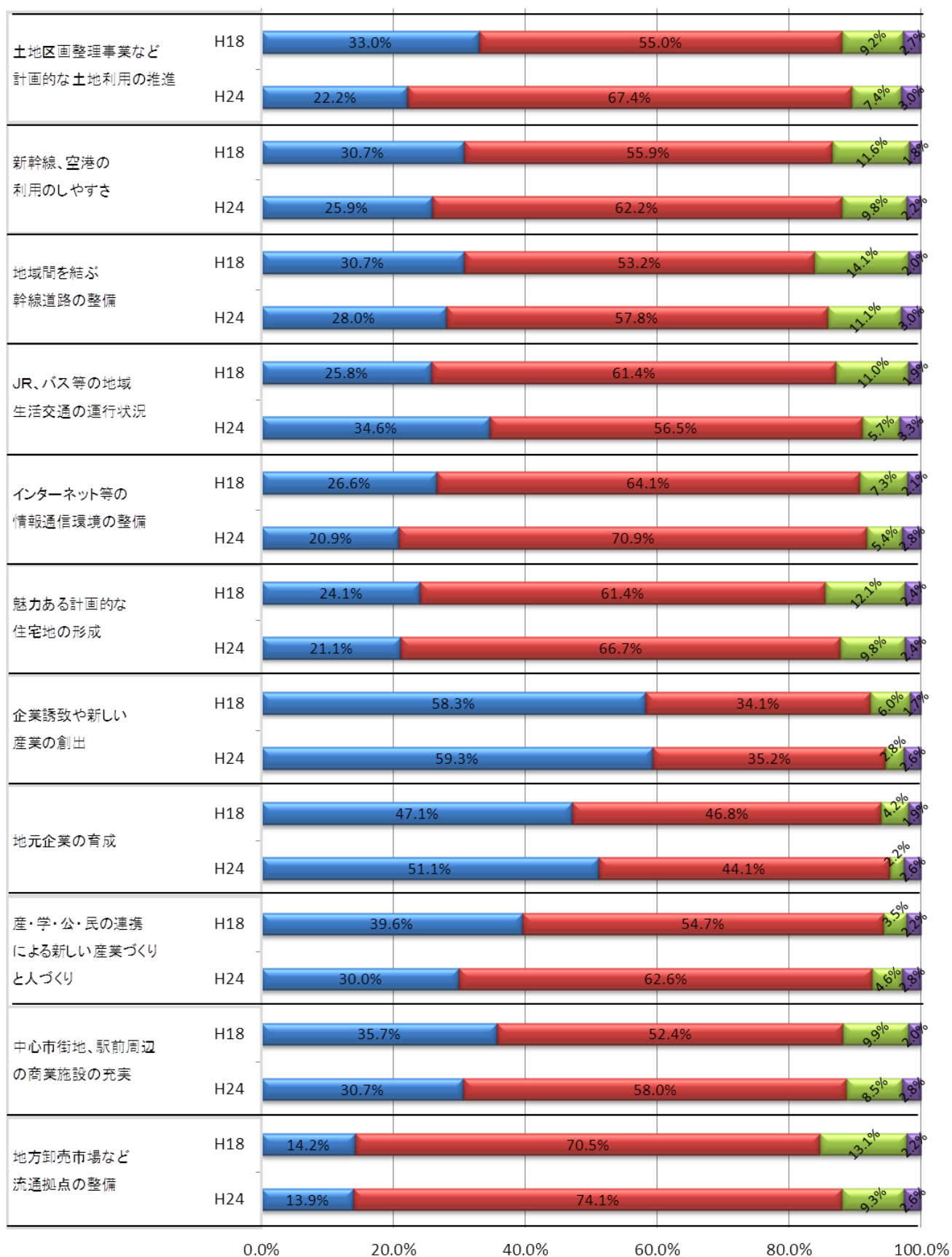
「地産地消の推進」については、「あまり優先しなくて良い」が 4.8%から 2.4%に減少しました。

「雇用機会の確保」については、「あまり優先しなくて良い」が 1.6%から 0.7%に減少しました。

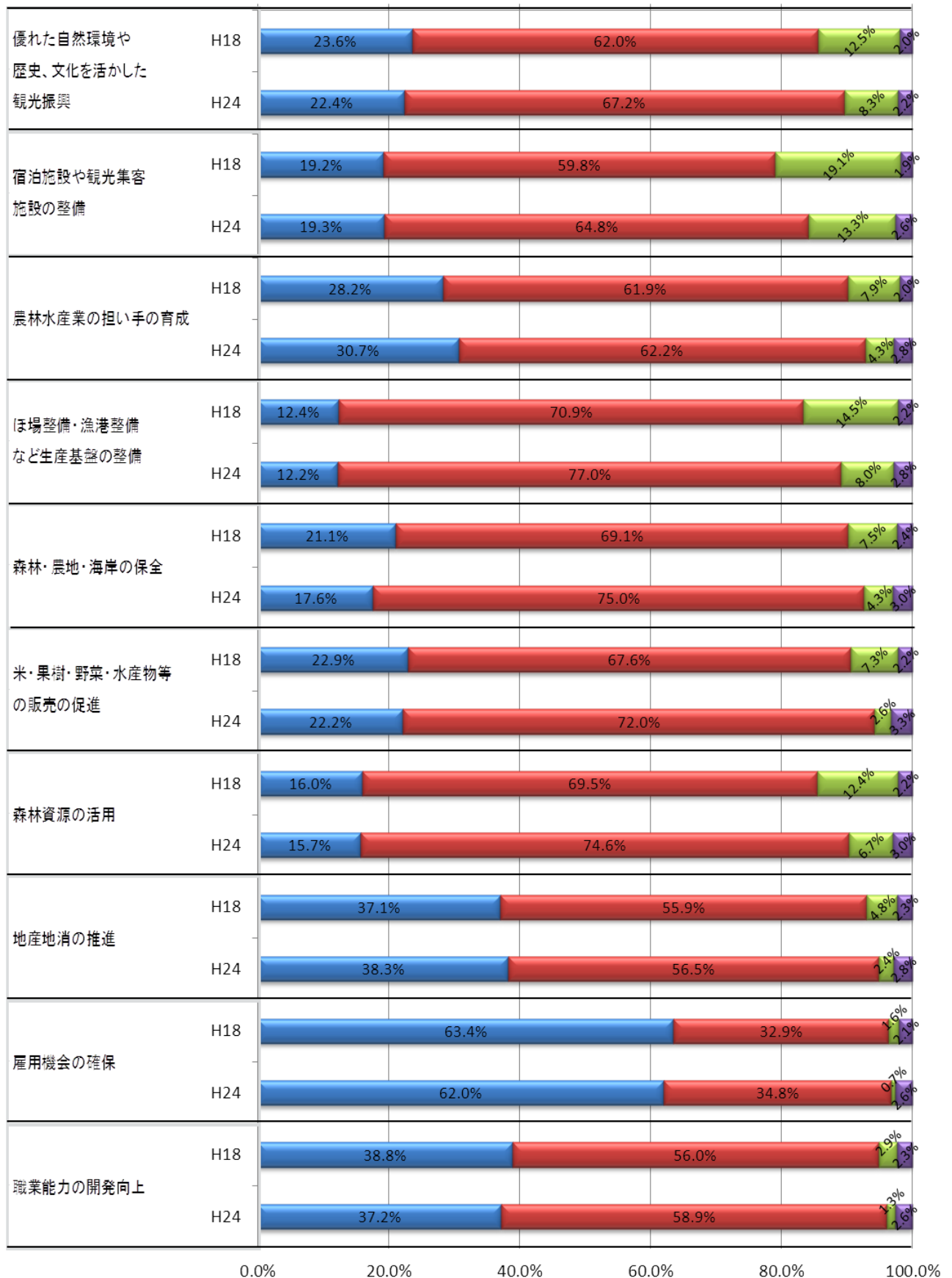
「職業能力の開発向上」については、「あまり優先しなくて良い」が 2.9%から 1.3%に減少しました。

	職員アンケート	市民アンケート
1 位	雇用機会の確保 (62.0%)	中心市街地、駅前の商業施設の充実 (39.0%)
2 位	企業誘致や新しい産業の創出 (59.3%)	企業誘致や新しい産業の創出 (34.7%)
3 位	地元企業の育成 (51.1%)	雇用機会の確保 (26.0%)
4 位	地産地消の推進 (38.3%)	地産地消の推進 (16.1%)
5 位	職業能力の開発向上 (37.2%)	観光産業の振興 (11.9%)

■ 優先すべき
 ■ これまでどおり
 ■ あまり優先しなくてよい
 ■ 無回答



■ 優先すべき
■ これまでどおり
■ あまり優先しなくてよい
■ 無回答



⑤定住環境の充実

「山・川・海等の自然環境の保全」については、「あまり優先しなくて良い」が1.6%から2.8%に増加しました。

「地球温暖化防止対策の推進」については、「優先すべき」が48.6%から32.0%に減少し、「あまり優先しなくて良い」が2.4%から4.8%に増加しました。

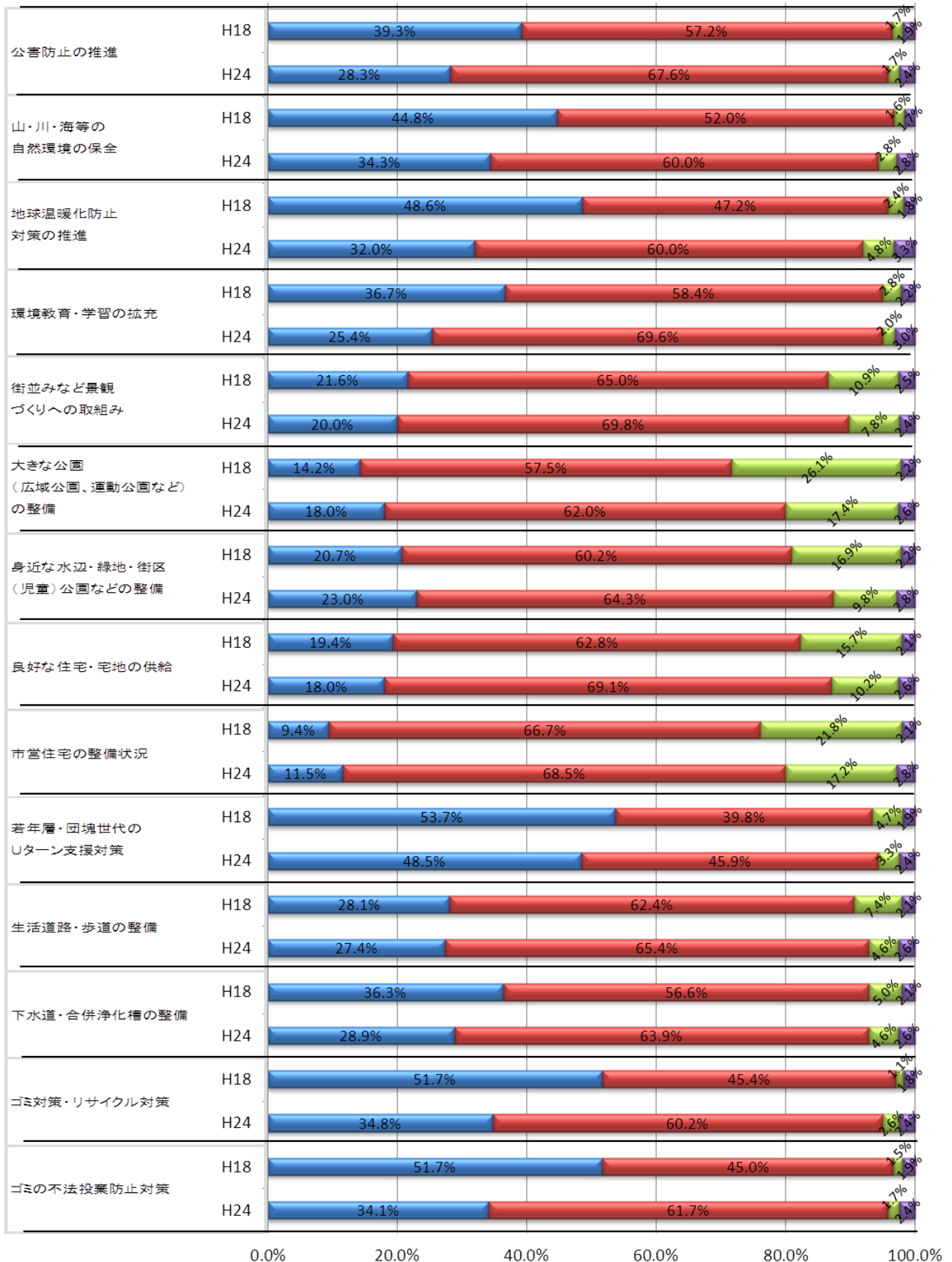
「環境教育・学習の拡充」については、「優先すべき」が36.7%から25.4%に減少しました。

「ゴミ対策・リサイクル対策」については、「優先すべき」が51.7%から34.8%に減少し、「あまり優先しなくて良い」が1.1%から2.6%に増加しました。

「ゴミの不法投棄防止対策」については、「優先すべき」が51.7%から34.1%に減少しました。

	職員アンケート	市民アンケート
1位	若年層・団塊世代の U ターン支援対策 (48.5%)	若者・団塊世代の U J I ターン支援 (36.1%)
2位	ゴミ対策・リサイクル対策 (34.8%)	自然環境の保全や環境教育の推進 (25.2%)
3位	山・川・海等の自然環境の保全 (34.3%)	生活道路・歩道の整備 (21.9%)
4位	ゴミの不法投棄防止対策 (34.1%)	良好な住宅・宅地の供給 (19.8%)
5位	地球温暖化防止対策の推進 (32.0%)	下水道などの整備促進 (17.6%)

■ 優先すべき
 ■ これまでどおり
 ■ あまり優先しなくてよい
 ■ 無回答



＜重要とされる主要施策＞

「子育て環境の整備・充実」（51.1%）、「企業誘致による新産業の育成」（42.8%）、「防災・防犯対策の強化」（38.0%）、「高齢者施策の充実」（36.1%）、「学校教育・幼児教育の充実」（33.7%）の順に選ばれています。

「総合交通対策の推進」が 9.3%から 13.3%に増加しました。

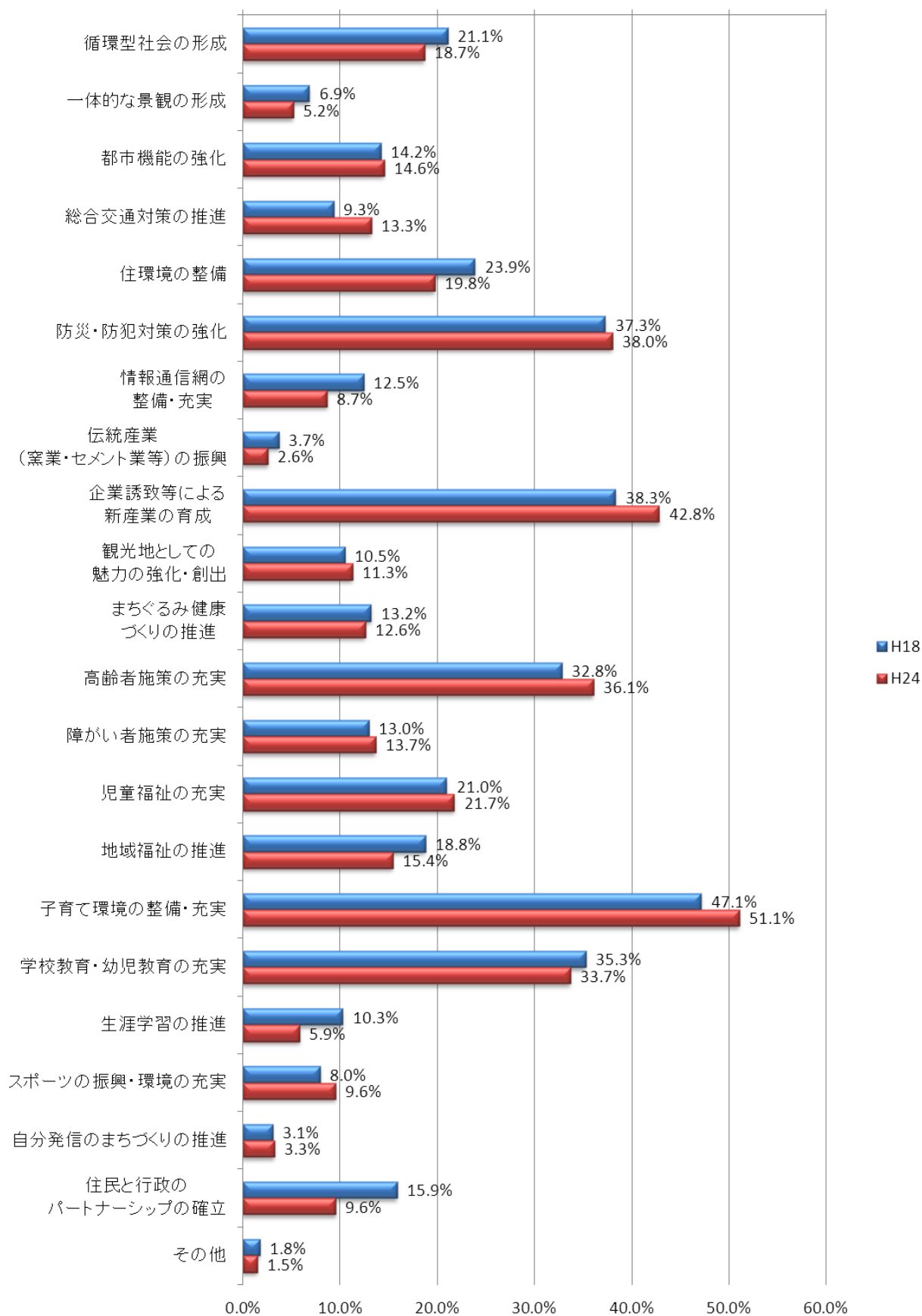
「情報通信網の整備・充実」が 12.5%から 8.7%に減少しました。

「伝統産業（窯業・セメント業等）の振興」が 3.7%から 2.6%に減少しました。

「企業誘致等による新産業の育成」が 38.3%から 42.8%に増加しました。

「生涯学習の推進」が 10.3%から 5.9%に減少しました。

「住民と行政のパートナーシップの確立」が 15.9%から 9.6%に減少しました。



◇財政等について

「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」(56.1%)、「事務を効率化・合理化する」(45.9%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(35.0%)が多く選ばれています。

「市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める」が56.7%から24.1%に減少し、順位も1位から5位になりました。

その他、「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」が2位から1位に、「事務を効率化・合理化する」が3位から2位に、「職員の意識改革や能力開発を進める」が4位から3位になりました。

